

麻生リトル・ラグーメン



神奈川県川崎市
麻生ラグビースクール

雷雨にもめげない麻生の夏合宿

夏合宿担当責任者
副校長 重住 英彰

今年は7月16日(金)から19日(月・祝)までの3泊4日、菅平山光館で夏合宿を行いました。18日(日)には菅平ミニ・ラグビージャンボリーに参加し、1年生から6年生まで延べ16試合に参加しました。練習や試合の詳細については各学年の欄に記載されていますので、ここでは夏合宿全体の総括を記します。

今年の夏合宿でも幾つかの新しい試みに挑みました。まずは菅平への往復のバスを小田急シティバスに切り替え、発着場所を黒川駅前に変更しました。

かねてより、往復のバスは若干費用が嵩んでも子供にとっての安全と快適さを確保することが重要と考えていたところ、ご父兄の紹介で地元の小田急バスに便宜を図っていただけることになり、しかも黒川駅前の路線バスの折り返し所を出発・到着場所に活用できるという幸運にも恵まれました。

これで周囲への迷惑を心配することなく、荷物や用具類の円滑なハンドリングを実現することができ、長年の悩みから解放されました。

しかし担当者の創意工夫だけでは如何ともしがたいのが天気です。毎年この時期は梅雨明けの頃で天候が不安定です。今年も夏合宿の直前まで長野県各地には大雨洪水警報が発令されており、上田市近辺では土砂崩れが発生するなど前途不安な旅立ちでした。

実際、日暮れ時の往路では左右の車窓に大きな稲妻が光り、子供たちの声も花火見物の気分から、やや恐怖心も滲んできました。次第に雨足も強くなり、トイレ休憩で駐車するのも避けたいほどで、運転主さんの判断に従い黒い雨雲から全速で逃れ、静かな甘楽PAで夕飯となりました。

翌朝の菅平の空は青く澄み、まさに夏の高原の眩しさに包まれましたが、グラウンドの状態はやや緩く、水捌けの良い部分での練習となりました。それでも天然芝の感触は素晴らしく、正に大地に身体をぶつける激しい練習が繰り返されました。

しかし、午後から次第に雨が強まり、遂には頭上での凄まじい稲妻の閃光と雷の轟音に見舞われ、一足飛びに宿舎へ退散せざるを得ませんでした。その後、夕食時には一時間に40mm以上の大雨警報が発令されたほどでした。

この結果、翌日のサニアパークはグラウンド・コンディションが思わしくなく、菅平ミニ・ラグビーフェスティバルは一時間遅れの運営となりました。それでも朝から強い夏の陽射しに恵まれ、子供たちは真っ黒に日焼けしながら対外試合に挑みました。余りの暑さの中での激戦を耐え抜いた6年生が、試合直後に熱中症で倒れてしまいましたが、看護師さんによる適切な応急措置のおかげで僅かな休息の後、夕飯までには急回復することができました。

夜は恒例のバーベキューと花火大会です。子供と大人が入り混じった笑顔の談笑風景はグラウンドでの厳しさとは全く異なり、麻生の暖かい雰囲気映し出されます。

そして、ついに最終日。雨で一日持ち越されたコーチの対抗戦は、校長率いる赤組が菅原、牛山両コーチの華麗なトライで逃げ切りました。

引き続いて展開された学年別の対抗戦は、いずれも低学年が1本トライを奪い、熱い声援に包まれ、グラウンドが興奮の頂点を極めました。

6年生 ○40-5● 5年生

4年生 ○40-5● 3年生

今年は、これに加えて6年生と6年生パパの対戦が行われました。パパは息子と同じポジションにつき、どの局面でも激しい親子の対決が繰り広げられました。遠慮気味の子供に対し自力に自信を抱くパパたちが先行したものの、次第に子供たちのスピードが勝り、ノーサイド目前に鮮やかな逆転勝ちを決めました。

6年生 ○15-10● 6年生パパ

夏合宿の最後は厳しいランパスの連続です。校長が蹴り上げるボールを学年毎に追い皆でボールを繋ぎます。低学年も元気に挑戦し、6年生ママも子供に負けないファイトを発揮、そして最上級生の6年生が15本を走り切りました。

そして閉会式では、この合宿で最も成果を残した子供に「菅平賞」を贈り、その努力を皆で讃えました。

3年生 齋藤 裕人：誰よりも大きな声で皆を引っ張った

4年生 伊藤 大吉：常に果敢に前へ出てボールに絡んだ

5年生 亀田 幹太：誰よりもコール多く、新ポジションを理解し奮闘した

6年生 野川 亮：自らのプレーの変革に加えチームプレーを実践した

今年もこのように沢山の楽しい思い出を残せたのは、合宿担当の5年生お母様方による献身的なご尽力のおかげです。あらためて感謝いたします。

また番外ではありますが、食事の度に全員の前で忘れ物の持ち主を探しましたが、今年の「忘れ物大賞」は3年生の小島稜！入浴の着替えのたびに置き忘れたようだが、全ての衣服に名前が記入されていたので全てが戻ったはず。返却時の明るい表情が上級生にも「稜」の存在を印象付けました。

そして雨の中で小耳にした5年生の名言、「志は高く、タックルは低く！」。これはコーチの指導？

雷雨に崇られながらも真っ黒に日焼けした夏合宿は、子供だけでなく、親やコーチにとっても感慨深いものでした。

2010年夏合宿の総括

幹事長 加賀

合宿に参加したコーチとお手伝いの父母の皆さんお疲れ様でした。以下に夏合宿の総括を報告します。

1. 参加者は小学生単独で、昨年並みでピーク121名が参加しました。

日程 内訳	16(金)				17(土)				18(日)				19(月)		
	バス往路	昼食	夕食	宿泊	朝食	昼食	夕食	宿泊	朝食	昼食	夕食	宿泊	朝食	昼食	バス復路
生徒	48		48	48	52	52	52	51	51	51	52	52	52	51	48
コーチ男	16		17	18	29	36	39	39	40	40	45	36	37	31	16
コーチ女	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
母	7		8	9	9	12	10	9	9	15	14	10	10	10	10
父	0		0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0
子供	2		3	3	4	5	5	4	5	5	5	4	5	5	3
合計	74		77	79	95	106	108	104	106	112	121	103	105	98	78
去年	66		66	66	83	97	107	106	107	105	116	100	101	98	73

2. 行きのバスは、16時36分黒川出発で府中ICから八王子・圏央道経由で、途中高坂SA付近が豪雨のため甘楽PAで弁当・飲み物を配布し車中で食べ、山光館に20時40分に到着しました。

帰りは12時45分出発、横川SAでUコーチがおみやげ購入？のため出発が遅れ、かつ本線へ入る手前で携帯電話を忘れたことに気づきました。出発が遅れました。途中事故渋滞がありましたが、18時20

分帰着しました。昨年はエアコンが効かない、ビデオ電源が入らないなどのトラブルがあり、今年は梅津ママのご紹介で地元小田急バスに変更し、行きはトイレ付バスの配車となりトイレ休憩なしで、車中ではビデオやDVDで楽しみました。また黒川駅での発着も好評でした。

3. 宿は、秦野 RS と同宿でしたが、人数が昨年と同様のため、大広間やシダハウスとパコの利用はなく、新館に子供6部屋と2・5・6年コーチ、それ以外のコーチ・女性も旧館で対応しました。
4. 天気は、4日間とも晴夕方から雨で3日間とも小学校裏の山光館第2グラウンドで行い、前日までの梅雨の影響で小学校側の半分は水吐けが悪く使用不可でしたが柔らかな芝生でした。18日朝は昨夜からの雨の影響で朝練が朝の散歩に代わり、BBQコーナーでの朝食となりました。
5. 花火は、夕方からの雨も上がり、武井・安井・赤池・大坪・小山田コーチがグラウンドにて準備し、子供たちに喜んでいただきました。
6. 夜のコーチミーティングは大広間を利用して開催され、ママたちも多数参加していただき、昨年同様24時前には終了し、その後は各部屋での2次会も開催されました。総務部は三沢部長以下、伊藤・山中・室井・熊谷・宮澤・牧野コーチが担当していただき、初日は宿の冷えたビンビールは飲めましたが、氷の手配遅れでその後が・・・、2日目は馬刺しとフルーツを宿に注文し、乾き物と併せて缶ビール・氷結と焼酎で昼も冷えたビールが用意されていました。しかし最近では昼間から飲むコーチも少なくなって来ているようです。恒例のコーチ料理は昨年からの大広間でのガスコンロ持込み禁止から、乾き物中心のさびしいつまみでした。来年はもう少し美味しいつまみが提供されることを期待します。会費は昨年同様でお酒の事前購入も少なくなりました関係から最終日の格安販売もなく黒字になり、コーチ会費に上納しました。また、3年父母からのビール差し入れ、ありがとうございました。
7. 試合は18日にミニジャンボリーに参加し各学年最低2試合行いました。
8. コーチの試合は、日曜日ではなく19日月曜日の朝食中に12分ハーフで行い、校長率いる赤チームが2:0で勝ちました。
9. けが人は室井コーチが息子の当りで耳を負傷、竹川コーチがコーチの試合で額に7針の怪我をしましたが、子供達は赤池君のぜんそく程度で大きな怪我や病気もありませんでした。
10. 宿での水分補給としてポカリスエットをジャグジーにてサービスしました。また食事中は各班にコーチが1人入って、子供たちの食事状況を把握するようにしました。昨年から着替え置場には各学年でまとめるように表示し、宿舎でのルールなどをまとめた「夏合宿のしおり」の配布で3年の忘れ物大将K君以外は忘れ物も少なく、集合時間など良くなりました。ただし、最終日は荷物整理に時間が掛かり4つの班が集合時間に遅れました。最後に夏合宿反省会兼打ち上げは7月31日に26人が参加して多満にて実施しましたが、反省項目は①トイレ付バスは好評、②夜中の豪雨対策(テントの破損)、③帰りの乗り物酔いの薬を飲まず、④コーチも集合時間に遅れないこと。などでした。

「夜のミーティング報告」

副校長 古田 十

例年通りの日程で向かった夏合宿。初日は夕刻からバスに乗って向かうため、宿舎に着いたらまずは子供たちを風呂に入れて寝かせます。金曜日のせいもありコーチ陣は少なめで、その後軽く打ち合わせをして撤収というのが初日の夜の過ごし方です。

今回は子供たちの寝付きが良く、夜の会も穏やかに進みましたが、小作ママ率いる5年生のお母さん方に参加していただいたあたりから急速に盛り上がり、「初日なんだから(ほどほどに)！」という声があちこちから聞こえるほどで、何とか宿とのお約束(?)である午前0時に撤収を終えました。

2日目、3日目は参加者が大幅に増え50名に近い大ミーティングになります。議題は主に、対外試合への意気込み、スクール内学年対抗戦への意気込み、コーチゲームのメンバー発表などです。

また、今回は合宿恒例、花火の責任者が、長年勤められた麻生の救急兼防火責任者である武井コーチから大坪コーチへ引き継がれることが報告されました。

麻生ラグビースクールにおける夜のミーティングの特長は「全員が」必ず皆の前に立って話すことです。

みなさんの話しぶりはもちろんそれぞれなのですが、それぞれ味があります。そして、コーチ・保護者ともに共通して聞かれるのは、わずか4日間での子供たちの成長の驚きと、子供たちへの深い愛情やチームへの強い想いです。特に印象的なのはお母さん方が自分の子だけでなく、チームのみんなが可愛いとおっしゃることです。

三沢総務部長はじめ総務部のみなさんの献身的なミーティング準備(買い出し、集金)にこの場を借りて感謝申し上げます。また、参加はじめてにも関わらず、急なお願いにより会の進行をしていただきました向野コーチ、野村コーチにも御礼申し上げます。適材適所。誰にでもお願いできることではありませんのでご容赦を(笑)

書き足さなければならないことはほかにもたくさんありますが、字数の関係もありますのでこれにて。

0.1秒ためらうと、40センチ走られる！

技術指導担当 大森 昇

みなさま、合宿お疲れ様でした！

各学年とも、春の「基礎を身につける」ステップから夏合宿では「戦い方を身につける」ステップに進みました。建前は「基礎は卒業したので、応用に進みます」なので、技術担当としては出番が少ない方が望ましいのですが、現実はなかなか厳しいですね。

攻撃面では、どの学年も一定の成果があったのではないのでしょうか？

6年生:

FW 全員が良く走り、激しく当たり、相手ボールをスweepで奪うシーンも多く見られました。BK は、前を見る力がつき、味方のスピードを生かすように連携よく繋げるようになりました。新潟の強豪スクールを接戦の末、破ったことは自信になったことでしょう。(強豪の敗戦は、新潟スクール界ではちょっとしたニュースになったようです)

5年生:

「坂道ダッシュ」の効果が徐々に表れ始めました。こうすればトライが取れる！そのためにBKはこう動く、次にFWはこう動く、その次に…という決まりごと(業界?では“シーケンス”と呼びます)を覚え、実戦でも上手く出来始めてきました。「抜けるクラッシュ」の完成までもう少しです。

4年生:

特定の突破役に頼らず、「繋ぐラグビー」が出来てきました。「独りで横走りして捕まってターンオーバー」はだいぶ減りましたが、未だ時折見受けられます。接点でこれまでは怖がっていたのにファイト出来るようになった児童が沢山あらわれたのが印象的です。個々の運動能力は高いだけに、規律を守る力(業界では“ディシプリン”と呼びます)の向上が待たれます。

3年生:

合宿最終日に、4年生から奪ったトライは見事でした。基本が一番出来ている学年でもあります。(パスの上手い子が多い！ランも流れない！)課題は「接点でファイト出来るようになる」。これができれば、自然と結果がついてくると思います。

どうしても攻撃に目が行ってしまいますが、防御も同じくらい大切です。どうですか？

麻生の失点パターンは、そんなに複雑ではなく、相手のデカイ子がスピードに乗る前に止められなくて失トライ、というものが多いですね。サニアパークの試合で奪われたトライは殆どこのパターンではないでしょうか？

①誰かが止めてくれる ⇒ ②あれ？やっぱりボク？いかになくちゃ！ ⇒ ③うわ！もう間に合わない～ と

というのが、抜かれる時の「心のありよう」だと思います。

勝ち負けにこだわる場合は特に、①の段階で「ボクが止める！」と猛然と相手に襲いかからなくてはなりません。特定のプレーヤーだけではなく、出場している全員が出来ることが「勝ち負けにこだわる場合」には望ましいです。

「ホンのちょっとした迷い」「ホンのちょっとためらうこと」で結果がそんなに違うの？の答えが表題の「40㌔走られる」です。40㌔を1分40秒で走る「やや遅めの小学生」でも、1秒に4㌔進みます。0.1秒で換算すると40㌔。実際のランナーは50㌔を8秒強で走るでしょうから、0.1秒遅れると約60㌔走られることになります。防御側が0.1秒逡巡すると、ボールを持って突破するには十分な空間が生まれます。防御側が60㌔くいこまれると低い体勢を取ることが出来ず、高い姿勢のまま跳ね飛ばされます。

逆に云えば、全員が「ホンのちょっと……」を克服することで、突破に必要なスペースを相手から奪い、より前で低く捕まえることが出来るはずです。

たかが「ホンのちょっと……」、されど「ホンのちょっと……」

攻撃ではあんなに伸びたのですから、防御面も「ホンのちょっと……」頑張ってみませんか？
結果はついてくると思いますよ！

中学生



2010年夏合宿を終えて

中学コーチ 小坂頼史

2010年の菅平合宿は4日間すべて好天候に恵まれて予定通りのスケジュールをこなし、大きな怪我人も無く無事終了することが出来ました。

田園RSが抜けてグリーンRSと麻生RSの2校での初めての夏合宿・・・最初は心配でしたが、グリーンRSの強力なサポートもあり、ほとんどのコーチが合宿に参加していただきまして練習も内容の濃いものが出来ました。

御父母の方も3年生の松村くんの母を中心にお手伝いを頂き本当にありがとうございました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

今年の合宿での目標は①声だし ②(タックル、当たり)踏み込み ③走り込みでしたが、少しずつですが、何を声にするのか理解してもらい しっかり踏み込みができ(踏み込みは出来るようになったが、その後のドライブがまだ不十分)、また、③については、今回はディフェンス中心に行ったので少々走り込みが足りなかった気がします。

練習試合は全敗でしたが、県大会での課題が見えてきました。うちのチームの弱点は、選手層の薄さです。中心選手が怪我で掛けるとゲームメイクが出来なくなってしまう。県大会まであまり時間はありませんが、控えの選手層のレベルアップをはかり、全員ラグビーを目指して頑張ろうと思っています。

反省点は、合宿中、熱中症の症状が多く見られたので合宿中での食事の時間帯、給水方法なども見直しが必要であると思っています。

これから県大会本番です。ダックスの伝統は【タックルからチャンスを作り、トライを奪う】

基本プレーをしっかり身につけV奪回に向け頑張ります。皆さん応援の方 よろしく願います。

中学の菅平合宿

DAGSコーチ 小松 正己

DAGSのコーチとして、初めて夏合宿に参加。久しぶりに白山神社を早朝出発で菅平に向いました。初日の午後から最終日の午前までフルに菅平で過ごす3泊4日の合宿を思い出すことができました。中学の合宿では運動量が小学生に比べ格段の差があり1年生にとってかなりきびしかったと思いますが、このきびしさ・つらさを乗り越え男として成長していくことでしょう。今回の合宿中、体調不良が2名でございました。症状は2名とも過呼吸で、近藤コーチの適切な対処により大事に至らずに済みました。菅平高原は標高1300mにあり、陸上部も高地トレーニングとして合宿を行なっております。高地トレーニングは空気中の酸素が少ないため低酸素状態を回避しようと自然に呼吸循環機能を鍛えられるもので多くのスポーツ界で取り入れられています。しかし、デメリットとして酸素摂取が十分になされないためトレーニング強度とメンバーの辛さや苦しさにずれが生じてしまうことや、個人での適応に必要な期間に差があることです。高地への順応に時間が掛かってしまうので、短期の合宿ではこの効果を求めるのではなく湿度や体感温度が低くラグビーをするのに相応しいことや多くのラグビーチームが集まることで効果を上げております。今回の反省とし、二人ともまじめにがんばってしまう性格がありました。今まで以上に個人別の体調に気

を配り健康管理を充実させ成果のある菅平合宿にしていきたいと思います。合宿に協力していただいたご父母の皆様ありがとうございました。

最後の夏



中学3年 松村凜太郎

今年の合宿は自分のことだけではなく他の仲間にも気遣わなければならない合宿でした。

技術面で学ぶことはもちろん、メンタル面でも学ぶことが多かったです。

特に感じたことは、「練習では仲間と協力しなくてもこなせるけど、試合では決して一人ではどうにもならない」ということです。それを思い知らされたのが高崎戦でした。

とにかく自分に回せと思っていた自分は、一人で突っ込んでボールを取られたり、チャンスをつぶしたりしてしまいました。

でもその次のシルクス戦で考えが変わりました。僕は初めてセンターを任されました。Aチームでのバックスで出場するのは初めてだったので、なんとかチームに迷惑をかけないように、そしてみんなとあわせようと必死でした。

その「仲間とあわせて」とか「迷惑をかけないように」という気持ちのおかげで、個人プレーがなくなりチーム全体がしまってきました。

結果は負けてしまいましたが、県の頂上が見える、そんな試合でした。この合宿から練習にも全力で励み勝ちにこだわっていきたいと思います。

「自分に勝つ」



中学三年 森 凌馬

怪我なんてものは、ラグビーをやっていれば当然起こります。逆に一度も起こらない方がおかしいかもしれせん。僕も合宿前に足に怪我をしました。が、練習が出来ないほどの痛みでは無かったので、合宿の練習に参加し、2日目の試合にも出場しました。試合の結果は2試合とも負け。自分の体が思ったとおりに動かないのも、しっかり走れないのも怪我のせいになりました。

試合が終わった後、僕は何故か泣きたくなりました。泣きたい理由の全てが足の痛さではありませんでした。『泣くな』とコーチに言われても、怪我で試合中何も出来なかった自分と、怪我のせいでチームの皆に迷惑をかけた自分と、全て怪我のせいになっている自分が情けなくて涙が止まりませんでした。

怪我をしていても、していなくても、練習や試合の時は、自分に負けたらだめなんだ、ということを今回の合宿で学んだ気がします。

やらされてやるのではなく、自分でしっかり目標を持ち、それを達成できるまで自分に負けない。そんな練習をして、試合にしっかり還元できれば、県大会全勝優勝も夢ではないと思います。

僕自身、これからの練習にしっかりと目標を持ち、県大会まで気を抜かずに頑張っていきたいと思います。

夏合宿から



中学3年生 木下雄斗

今回の合宿では、ケガをしながらの練習と試合だった。

ケガをしていた分、自分の調子は良くなく、良いプレーをすることができなかった。けれども、今回の合宿で得た課題や学んだことも多かった。合宿で見つけた課題を県大会までには修正したい。

夏合宿



中学3年 齊藤 翔

新チームになって約半年がたち、今年は最終学年なので良い成績で終れるよう菅平合宿に参加しました。何をどのようにすればチームとしての強化策につながるのか、この合宿でしっかり考えさせられた合宿だったと思います。

また、チームだけでなく一人ひとりのプレーヤー自信・自己トレーニングとの闘いに向かわなければならぬのでそれなりの覚悟が必要でもあった。夏合宿というものはそのような心構えでなければ目標に達成することは出来ないと思う。

今回は自分自信の目標に対してかなりの成果あったと思う。これからシーズンに向けた練習も菅平の苦しい練習を忘れずに何事も全力で挑戦していきたい。

「夏合宿」



中学2年 猪腰風太

夏合宿の二週間ほど前の練習で、僕は手首を折ってしまった。ケガをしてしまった僕ができることは、走ることと、ボールを蹴ることだった。

ボールを蹴り続けていたら、疲れてきたけれど、皆の疲れは僕の何倍もあるんだと思った。毎日、皆の練習を見ながらゴールポストめがけてボールを蹴り続けた。試合も仲間をサポートする役だった。始めてグラウンドの外側から試合を見て、チームの色んな所が冷静に見えた。

僕はコーチに「この夏の合宿はケガをチャンスに変えればいい」と言われた。

もしかしたら、コーチの言葉通り、これからの僕のラグビーを少し変えてくれるかもしれないと思った。でも、本当に悔しかった今年の夏だった。

最後に手首を折ってしまいチームのみんな、コーチの方々本当にすみませんでした。

「合宿」



中学2年 須藤行雲

今年の合宿はとても大変でした。

二日目では練習と試合をしました。試合は高崎とやり、ウィングで出ました。結果は負けてしまいましたが、ウィングとしてタックルができたので良かったです。三日目は1年生の試合にハーフとして出ました。

負けてしまいましたが、1年生の中で一番大きい人にタックルできました。

練習で外周のタイムが上がったので良かったと思います。

四日目は最後の日なので特に頑張りました。最後まで集中して出来たので良かったです。

今年の合宿で学んだことはあきらめないことと最後まで集中することです。外周の時に最後まであきらめないで走ったらすごく達成感がわきました。こういう気持ちを忘れないように、これからもがんばってきたいと思います。

「夏合宿を終えて」



中学2年 横尾 昌哉

今年の合宿は、2日目からの参加でした。練習はいつもよりつらかったです。試合では満足するプレーができなかった。結果は敗北……

最後の練習で外周をやりましたが、先輩、仲間に迷惑をかけてしまいました。これから日々の生活を見直しみんなに少しでも追いつけるようがんばります。

夏合宿を終えて



中学2年生 和田一希

去年はオスグットでただ見ているだけで練習に参加できなかったのが、僕にとっては今年が中学はじめての菅平合宿となりました。グラウンドに立つまでは大変緊張していたがそんな緊張を吹き飛ばすほど菅平の朝の空気は気持ち良かった。

合宿では今までほとんどやった事の無い BK をやることになり、思うように動けずにプレーの邪魔をして、チームに迷惑をかけてしまいました。やっているうちに BK の面白さも少しは感じる事が出来たが、僕はやっぱり FW がやりたいと思っている。

普段の練習にもできる限り参加して、またFWに戻れるよう頑張りたい。

《欠点だらけの自分》



中2 小野悠太

仲間と過ごせる合宿は、毎年楽しみにしている。今回もその気持ちは変わらないと思っていたのだが、今までにない感情があることに気づいた。3泊4日の練習では物足りない。もっと練習がしたかった。初めて菅平に来た時は、練習より、遊ぶ事ばかり考えていた自分とのあまりの違いに、我ながらニンマリ。それと同時に、現時点での自分のラグビーレベルの低さを再確認してしまった…合宿であった。もしかしら、基礎からのやり直しになるかもしれないが、この先ラグビーをやり続ける為には、とてもいいチャンスかもしれない。

ワントライをあげる為には、次につながるプレーをしなければならず、その為には自分の所で中断させてはならない。雑なプレー、自分よがりなプレーは断じてしてはならない。自分の最大の弱点であるメンタル面の克服、瞬発力の強化…その他多数…をこれからの練習で改善し、チームプレーの大切さを肝に命じ、県大会にむけて、努力するつもりだ。

笑われるかもしれないが、2019年のワールドカップのコートに立ちたい。



中学1年生 木下 元太

「夏合宿で痛感した僕にない物」

初めての夏合宿で痛感した事は、試合中に声がないと、いくら個人ではいいプレーをしていても、得点をとる事ができないと言う事です。

声がないと自分達のコミュニケーションもとれないから、相手にプレッシャーもかけられませんでした。

試合でいつも出る様にするには、日頃の練習や部活で意識して出さなくては直らないと思いました。

次にやはり体力が足りないと痛感しました。

試合中の前半だけでバテバテになっていたし、あげくの果てには熱中症になるし、明らかに体力不足だなと感じました。

中二・中三になるともっと練習も厳しくなるし、ついて行けなくなってしまう様に、毎日、走り込んだり、筋トレしなければと思いました。

この様に毎日自宅でしなければいけない事をしっかりした上で、ラグビーの練習中でしかできない事は練習中に真剣に取り組んで強くなりたと思いました。

菅平合宿



中1 嘉数 泰盛

ぼくは、菅平合宿で「声を出すこと」と「早く走ること」ができました。でも、高崎戦・シルクルス戦・ジャンボリー大会と沢山課題があり、シルクルス戦の時はまともなタックルが1つも行けず、防御が弱かったと思いました。FRの動きももっと素速く行動して、直ぐにオーバーができるように今後の練習をしていきたいです。2試合目もノーホイットライがあったので、これからはそんなことがないように頑張りたいです。菅平では、チームに足りない部分があると気づかされた合宿だったので、これをきっかけにチームが変われば強くなると思うので、これからも基本を大切に、練習をしていきたいです。

夏合宿



中学1年 棚橋耕太郎

僕は、中学生になりDAGSの合宿に参加しました。DAGSの合宿は思っていた以上に辛かったです。まずは、朝6時に起床し、そして6時半にはグラウンドに集合。とにかく眠たかったのですが皆も同じなので一人だけ弱音は言ってもらえませんでした。そして、練習量も小学生の時の合宿とは比べものにならない位きつかったです。ランパスでは息が続かなくなる程でした。練習が終わった後はすごく楽になり天国でした。お風呂に入ったり、ご飯を食べたり、その後部屋でテレビを見たりして楽しかったです。バーベキューをしたり、自由時間に買い物をしたり練習は暑くて、辛くて大変だったけど、そうした皆との交流が本当に

楽しかったです。

練習はとても厳しかったけれど、やりがいもありました。来年も合宿に参加したいと思います。

「なせばなる」



1年 富田嶺央

今夏のラグビー合宿を無事！？終えた。初日から練習はハードだったが、小学生の時より楽に練習をこなす事ができた。というのも、部活やラグビーの練習でもグラウンド走等で、体力をつける事が出来たからだと思う。ただ、連続タックルは非常にきつかった。

僕には、小学生の頃から目標にしていたことが2つあった。

1. 大きな声を出す。
2. 低くてすばやいたックルをする。

この2つは、中学生になっても目標にしていることである。合宿では、大きな声を出す事は出来たと思う。しかし、低くてすばやいたックルをするという目標は達成出来なかった。

1. 手を絞って前へ進んでいない。
2. 下を向いてタックルしている。
3. タックルするタイミングが遅い。

この3つの改善点を修正していき、迫力のあるすばやいたックルをしたい。

また、3対3の練習ではキレが悪く、コーチにマンツーマンで教えてもらい、おかげで最後に自分の中ではすごく良いプレーをすることが出来たと思う。その後のグラウンド走では途中で過呼吸になってしまった。過呼吸では、チームメイトに迷惑をかけてしまった。改めて仲間の協力は大切だと言う事を実感した。過呼吸で倒れた時、コーチの方々をはじめ父母の方々にご迷惑おかけしました。

その分は日頃の努力で取り返したいと思います。

夏合宿を終えて



中学1年生 辻 拓馬

僕の夏合宿での目標は、大きな声と相手を倒せる強いタックルが試合でもできるようにすることです。

どうしてこの目標にしたかという、これまでの試合の時に、声が小さいために味方に伝わらず、関係プレーがうまくいかなかったからです。また、タックルは相手の勢いに気持ちが押され、ビビって、しまい何度も相手に抜かれてしまったからです。

この目標を達成するためには、練習の段階から試合のような緊張感をもって取り組み、練習での成果を相手にトライを許してしまう場面がいくつもあり、最初に掲げた目標を達成することができませんでした。

これからも、気持ちを強く持ち、何が何でも絶対に相手を食い止める気持ちでタックルをしていきます。

最後に合宿を終えて感じたことは、試合でチームが負けているときに、レオくんが「声を出そうぜ！」と雰囲気盛り上げてくれます。そんなときに、「本当に仲間っていいなー」と思いました。

菅平合宿



DAGS 1年 安井 誠

DAGS に入り、初めての合宿でした。バスの中では、チームメイトと話しをして緊張はしなかったけど、菅平に着くと、すごく緊張しました。1日目の練習は、思ったほどきつなく感じました。

合宿2日目の午前中は、高崎との試合があり、前半はフォワードで出場し、後半はウィングで出場しました。チャンスはありましたが、トライが出来ず、また、チームも負けてしまい残念でした。午後の練習は、1日目より厳しい練習と感じました。

3日目、前半の練習は、コーチとの試合形式の練習でしたが、タックルに入ることが出来て良かったと思います。午後の前半は、茨城県の選抜チームとの試合でした。とてもパス回しの速いチームで、試合前半だ

けでかなりの得点を取られ、後半も同じ様な展開で、得点を取られ、とても残念でした。脛を踏まれて、少し休んでしまったけど、最後まで挫けずに練習に参加できました。これからもDAGSで頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

「最後の夏合宿」

中学3年 松村 凜太郎母 松村 菜穂子

小学部から始まって私にとって8回目の菅平合宿、スクール最後の合宿となりました。今回会計担当で小学部以来フル参加しましたが、中学生ともなると母の出番もたいしてなく、行きのバスでは「スクールウォーズ」のDVDを観て号泣し、現地では家事労働もなし、時間になれば出てくる食事に感謝し、あとはきつい練習を必死に頑張る子供達の姿をテントの下で見えて感動していた4日間でした。

合宿中には、これまであまりお会いすることがなかったグリーンRSのお母様達とも親しくなることができ、これから練習や試合で一緒に応援する楽しみも増えました。

私にとっては良い事ばかりの菅平合宿でしたが、その陰にはコーチのみなさんのお力があってこそだと大変感謝しております。いつも、少年のように純粋なコーチ達の姿勢に敬服しております。(決して「大人になりきれしていない」とは申しておりませんので...)

また、お母様方には母部屋に差入れをいただきまして、ありがとうございました。お茶とお菓子を食べながら、母部屋女子会は盛り上がりました。

秋の県大会では、絶対に良い結果が出ると思っています。母としても残りの時間、少しでも協力をして行きたいと思っています。頑張りましょう！

追記

8月に高校生の息子の合宿で再び菅平に行きましたが、いろんな所で麻生の卒業生に会いました。みんな大きな声とはにかんだ笑顔で「こんにちは」と声をかけてきてくれて、とても嬉しかったです。同時に近所に住んでいながら全然ご無沙汰のご父兄にも「あら〜久しぶり」と次々にお会いし、あらためてラグビーの縁の深さと菅平の魅力を知りました。

あと何回菅平に行けるのかわかりませんが、今後もますます楽しみです。このような経験をさせてくれた子供達と麻生ラグビースクールに感謝です。

8回目の菅平..感謝します！

中学3年生 木下雄斗の父 木下豊三

長男雄斗も今年で8回目の菅平でした。思い起こせば小学校2年生の時、生まれて初めて一人で送り出したあの日からもう8年も経ったと思うと感無量な気持ちになります。

長男にとって8回目の今回の菅平は今まで一番後味の悪いものになったのかもしれませんが、それも大切な経験でありましょう。いい時ばかりではない現実を体感できたことも、また必要であったと思います。

そんなスクール最後の菅平が終わった後は選抜選考の結果があり、県大会もあります、選抜選考の結果次第で東日本大会もあります、その先には花園が...あるのかもしれませんが。そんな秋をどう乗り切れるのであろうか？どちらにして試練の秋は目の前です。

また、この場を借りまして、今回の合宿に関わったコーチ各位に感謝いたします。そして長男を育ててくれたラグビーに感謝いたします。

最後の合宿

中学3年森凌馬の母森啓子

小4から6年間。毎年通った菅平。高校でラグビーを続けなければ、夏合宿もこれが最後になります。毎年合宿を乗り越えて体力も精神力も(?)逞しくなり戻ってくる息子をみるのが楽しみでした。あんなに練習を重ね、苦しい時間を過ごすことは、普段の学校生活では味わう事の出来ない貴重な体験だと思います。また、子ども達の様子に気を配り最大限まで引っ張って伸ばそうとご尽力下さるスクールのコーチには頭

の下がる思いです。

菅平のグラウンドは野戦病院さながら。日を重ねるにつれ、負傷者は増えていき、練習前にコーチにテーピングをしてもらう為の、行列ができます。上手に給水しながらも、苦しくなりテントに倒れ込む子。皆と同じメニューをこなしているはずなのに、自分だけ休んでしまうことに悔し涙をながす子。子ども達の汗と体臭の入り混じった、強烈な臭いととも、夏といえば思い出す風景になると思います。子どもにとっても忘れがたい合宿ですが、私自身も感動をもらい元気をもらう場所、それが菅平でした。これからラグビーを続けるにしろ、違う道へ進むにしてもあんなに頑張った自分が確かにいた、菅平の蒼い空は何ものにも代えがたい宝物だと思います。子ども達がそれに気付くのは大人になっているんな壁にぶち当たってから。あんなに頑張った事をおもいだして「乗り越えられないはずがない」と自分を勇気づけることが出来ると思います。

たくさんの素晴らしいシーンをありがとう。最後の県大会ベストを尽くそうね。みんなで笑って締めくくれるように。

「ありがとうございました」

中学2年母 横尾 美紀(横尾 昌哉母)

暑く、天候が不安定のなか熱血指導をしていただいたコーチのみなさん、ありがとうございました。また、一日中子供達の世話をしていただいたご父兄の方々ありがとうございました。足の遅い息子をいつも励ましてくれたDAGSのチームメイトありがとうございました。DAGSの深い絆に感動しました。

菅平夏合宿の経験を活かし、県大会に向けさらなる飛躍を期待します。

“ドキドキ？ワクワク？”

中学2年 須藤行雲母の母(小保方喜枝)

ドキドキワクワクの合宿も無事終了。

ドキドキとは行雲が小学5年の時は脳震盪、6年の時は足首骨折と菅平に着いたその日の練習か翌日の練習の怪我で本人はほとんどが見学ため2年続けて応援参加にも気合が入らなかった。それ以来、菅平で練習や試合を楽しむと言うよりも合宿カリキュラムを無事にこなせるかどうかドキドキ気になるのです。行雲に関しては昨年に続き今年も怪我もせずホッとしました。

ワクワクとは合宿中に普段対戦できないチームとの試合観戦です。今年も勝てそうかなと思っていましたが残念ながら全学年が全敗に終わり、ワクワクからガックリに変わってしまいました。ある卒業生に言わせるとそれもジンスとのこと。この全敗に奮起して県大会では良い結果が出るのだとか？その言葉を信じて、秋の県大会に向け全試合追っかけ応援出来るよう私も体力をつけておかななくては・・・

最後になりましたが、コーチの皆さま、お母さま方、色々お世話になりまして有難うございました。

夏合宿

中学1年生 棚橋の母

中学生になり初めての合宿で、DAGSの練習は厳しいと噂で聞いていましたので合宿から帰って来たらラグビーを辞めたいというのではないかと思い、内心不安でした。しかし、帰宅した息子に感想を聞くと、心配を他所に練習は辛かったけど来年も行きたいという返事でした。今年は2泊3日の参加でしたが、コーチの皆様、お手伝いのお母様方、皆様に支えられ無事過ごす事が出来ました。本当にありがとうございました

「今年の菅平は暑かった！」

1年生 木下元太母

中学になり初めての菅平に参加させて頂き、気温だけでなく様々な「あつっ！」を経験させて頂きました。

まずはDAGS特有の学年縦割りの部屋割りで、上級生の方の気遣い、イニシアチブの「厚い」こと！

部屋の先輩が、熱中症で寝込んだ息子を、夜じゅう気遣って頂き、しかも息子のウェアまで先輩が洗って下さっていて、本当に感謝、感動致しました。

そこにはコーチと上級生の方との確実な信頼関係が存在し、そしてそれが新入りの中一の子達まで伝

わり、息子も先輩への憧れと尊敬の念を、自然に抱いた様です。

こういう感情は親が教えられる物ではないので、本当に DAGS に出会えて良かったと実感致しました。

又全国の中学生のレベルの「熱い」こと！

初めて各県の中学生選抜の試合を目の当たりにし、「本当に息子と一年違い？」とカルチャーショックを受けました。

一チームに何人もいる体も気力も高校級の子達。さすがの「ただラグビーが好き」だけの息子も衝撃を受けた様でした。

中学部になり小学部の時とは違う「やべっ！」「スゲー！」「おもろっ！」等々、又新たな沢山の経験をさせて頂き本当に感謝しております。有難うございました。

ダックス ニュージャージ

両生類(麻生RS、グリーンRSが両方生きる意味)



6年生



曾我鷹平 三沢一海(バイス) 古野裕理 大森鐵乃祐 室井虹翔 岩野将大
赤池勇大 梅津誉 西野稜祐 東野遼太郎 田口吉兵(キャプテン) 野川亮 小山田弦

13人で掴んだもの

6年チーフコーチ 牛山 健太郎

夏合宿。浮世を忘れて子供達とラグビーに没頭する幸せな時間。年に一度の桃源郷へ今年は小学生最後の合宿となる彼らと共に登った。酷暑が予想される中、成長著しい彼ら、4日間でどこまでやってくれるか。個々の能力を最大限に引き出す密度の濃い練習、チームプレーの醸成。昨年迄とは違うプレッシャーもまた心地よくバスに揺られた。

そうして、はたして(私にとって)楽しく集中した時間は正にあっという間に終わってしまった。子供達は何かを掴んでくれたのか。分からない。掴んでくれたら嬉しい。

三浦校長以下、コーチ陣による情熱と愛情の塊は一人一人の胸を突いたのか。ぐんぐん気持ちが入ってくるのを傍に居て感じることは出来た。プレーの質もそこかしこで眩く光を放ち、コーチ陣を唸らせた。

子供達は夏合宿でどんな瞬間を体験することに意味があるのか。気持ちの沸点、全力プレーの感触、体験したことがない速さ、強さと痛み。その瞬間を仲間と共に心と体に宿す。普段の日曜日の朝とは違う特別な瞬間。その場にいた皆の意識、記憶の大切さ。

そうなんだ。そのために夏は、夏合宿は在る。

このまま県大会まで、そして県大会も鮮やかに駆け抜けていくのだろう(そんなに簡単じゃいか。淡い期待)。そんな力強さを感じる、本当に楽しみな13人です。

しかし、もっともっと一緒にグラウンドにいたかった。お楽しみ時間は短いもの。菅平の青空と芝生がそんな気持ちにさせるのか。山を下りる時にそんなことを思ったりしました。

PS. ご父兄各位、

お疲れ様でした。ご支援有り難うございました。子供達本当に頑張りました。
(コーチも精一杯やりました(^^))

県大会までいいテンションを保ちながら盛り上げて行きたいと思います。今後共宜しくお願い致します。

夏合宿それは絆

6年サブチーフコーチ 清水 賢一

六年生諸君、夏合宿みんなよく頑張りました。そして良いチームになりました。
今年の合宿に入る前にみんなも個々に目標をたてて合宿に入ったと思いますがコーチ達も合宿での指導目標をたてて合宿に入りました。

仲間を信じて、時には厳しくそして折れそうな人がいたら励まして個々ではなくチームとして一つにする、そして子供達の熱い気持ちをもっと面にださせてあげようという技術的ではなく精神面の成長を鍛えていこうという目標で小学生としての最後の合宿に望みました。エンジンのかかりの悪い六年生ではありましたが、合宿の終わりに三浦校長の言葉にもありましたが、一日目より二日目いや午前より午後と言ってよい程に技術面そしてコーチ達の厳しい特訓に耐えて今まで声が出てないと言われ続けてきましたが声も出せるようになりました、大成長です。それを裏づけるように合宿での二試合目、取って取られてのシーズンゲーム最後は気持ちの強い方が勝つという試合を終了際のトライで見事勝利、精神的に成長した試合でした。最終日の五年生との試合では試合に出ている子供、ベンチより応援している子供から「チームでトライ取ろうぜ」という声が何度も聞こえました。

その言葉を聞いてコーチ達みんながこの合宿の成功を確信した瞬間でもあったのではないのでしょうか。

夏合宿中、他の学年のコーチの皆様にも当たりの台になっていただき、ADの相手をしていただきましてありがとうございます。そして熱い中テント組の面倒や水分補給の準備など影から支えていただきました父母の皆様本当にありがとうございました。父母の皆様の支えや子ども達への励ましがあったからこそこのような良いチームに成長することが出来ました、この後もミニ合宿・県大会がありますので宜しくお願いします。

六年生諸君、夏合宿で学んだ『気は技を制する』を忘れずにそして自信をもって県大会では最後みんなで見えるように頑張っていこう。

2010年菅平合宿

6年サブチーフコーチ 安井 章

生徒の皆、菅平合宿を終え、達成感、充実感に満ち溢れているのではないですか。
厳しい練習で走り回り、当たりまくり、ボールに食らいつき、声を枯らしながらも、全員でチームを盛り上げ、助け合っていた事が、私はとても印象に残っており、感動しました。
君たちは個人的にも、そしてチームとしても、この合宿で一回りも二回りも大きくなりましたね。本当に素晴らしいチームになったと思います。

この厳しくもあり、楽しくもあった合宿の経験を生かすは、やはり今後の練習への取り組む姿勢がとても重要です。前向きに、そして全力で練習に取り組み、充実したラグビー生活を送りましょう！

ご父兄各位

合宿では、多大なサポートを頂き、誠に有難うございました。子供たちも良い経験になり、良い思い出になったと思いますが、“ご父兄のサポートがあつてこそ”と感謝しております。

これから小学部終了まで、色々あると思いますが、これからも宜しくお願い致します。

ヤッパリ化けたね！！

6年コーチ 教村 雅司

今年の合宿 メソメソ顔スタート！！！！

大丈夫かな？不安なスタートを切りましたが、午前 午後の終盤に素晴らしい本当に素晴らしいプレーを見せてくれました。

嫌なスタートのイメージは夕方からの激しい(35mm/1時間)雨に流しました

二日目の午前中は、前日の疲れからか重たいだらけムード雨の影響でスタートも遅れ早朝の練習は走り込

み ボールは触れない！残念！！

しかし対外試合2戦2勝 皆のチームワークで勝ち取った素晴らしい試合 強くなったが実感
グラウンドに戻っての練習 徐々に下の学年が練習をあがり全面を使用するアタック・ディフェンス
子供達の敵陣ゴール前の気合の入った攻撃

素晴らしいチームワーク 最後まで諦めずに食らいつく根性が出来たね！！

成長したね！ 化けたね！！ 今年も最高に素晴らしい感動をありがとう！！

みんなにあげたい菅平賞

県大会で結果を出そう！ このチームなら素晴らしい結果を残せる！！

よろしく頼む！子供達！！

進化した6年生

6年コーチ 矢野 彰一

「おおっ！」麻生の応援をしていた人たちから、驚きのどよめきが起こった。日曜の佐野RSとの試合で、6年生が取った一本のトライは、それ程すばらしかった。

今年になって重点的に練習してきた戦術、最初はフォワードが頑張っ、ブレイクダウンを2、3回重ね、最後にバックスが、得意のパスワークで展開して、トライを取りきる。これを見事にやってみせてくれた。このトライを見て、目から急に汗が出てきたのは私だけ？

いいぞー、6年生。これにもっと磨きをかけて、県大会に乗り込むぞー。

最後の夏合宿

6年コーチ 宮原 照明

子供達にとって、毎年夏に来る。つらくてきびしい夏合宿がまた今年やって着ました。

今年は小学校最終の年！目標は、県大会優勝！コーチたちも思いは一緒であり、今回はいつも増して気合がはっていました。今回も6年生は、各自目標を決めて合宿に望みましたが、合宿が始まると、子供達は相変わらず声も出さず、いつものようになかなかエンジンがかからない状態でありました。しかし、今年はずいぶん違う小学校最後の合宿で後がないという事、今まで練習してきた成果の結果を出す学年である事。コーチの思いが伝わったのか、初日後半からフォワードのフォローがよくなり、バックスもパスがつながり、雷雨の中、よく頑張りました。

翌日は、他スクールとの試合が組まれておりましたが雷雨の影響で、試合時間が遅れての開始となり、練習時間が少ない中の試合で重要な初戦である為みんな緊張していました。相手は、佐野RSであり、ディフェンスが良いチームだったので心配していましたが、6年生が最初トライを取ることが出来たことで、今までバラバラだったフォワード、バックス共にかみ合いました。フォワードはいつもより早いオーバー、モールでの押し込み、バックスは展開でパスがつながり、徐々に全員ラグビーが出来た良い試合をみせてもらいました。結果は5-0と圧勝しました。これはいままで走れなかったフォワードが体力をつけて来て、ボールがつながる事が出来てバックスに繋げる事が出来たことが大きな要因だとおもわれますので、合宿後もこのつらい練習を思い出して全員ラグビー(6年生、コーチ、親)で、県大会優勝をめざしましょう。

最後の合宿

6年コーチ 清水 翔太

6年生のみんな、まずは4日間の合宿お疲れ様。君たちはこの短い期間で大きな成長を遂げたと思う。スパルタなコーチ陣にヘトヘトにされながらも最後まで走り続けた経験は、グラウンドの内外を問わず君たちの糧となるはずだ。

そして何より忘れてはいけないのは、1人ではなく「13人」で合宿を乗り切ったということ。君たちの考える以上にここには大きな意味がある。そのことに気付くのはまだ先の話かもしれないが、どうか心に留めておいてほしい。

最後に、君たちの練習を支えてくれたご両親に必ず感謝すること。口にするのは恥ずかしいだろうから、その分プレーで答えよう。県大会優勝は、最高の恩返しになるはずだ。

菅平夏合宿

6年コーチ 伊藤 信一

それにしても子供達の成長するのは素晴らしいです。たった数日間の合宿でこんなに成長するとは！初日朝の練習から夕方までの練習まで、たった一日の練習でもどれだけ伸びた事か！

2日目のジャンボリーでもその成果は出ました。

午前中の佐野戦ではこれまでにない最高の内容での勝利！試合後はみんな大喜び！コーチ、父兄も子供達をベタ褒め！みんな浮かれて山光館へ戻って昼の休憩。

この雰囲気は！？もしかして、調子に乗って、気が抜けて、午後の試合はボロボロ？
そんでもって怒られまくって、戻ったら厳しい～猛練習ってパターンかな？辛いな～。

でもそんな心配はいりませんでした。今までの彼らとは違い成長していました。

午後の中條戦、前半を同点で終えてハーフタイム、そこで校長からのアドバイス、「ここまできたらあとは気持ち！勝ちたいという気持ちの強い方が勝つ！」まさにその通り、そしてやってくれました。1本差での見事な勝利。

結果:2戦2勝。

ホントに強くなりました。このまま県大会でも全戦全勝だ～！

合宿の感想

6年キャプテン 田口 吉兵

ぼくは今回の合宿に向けて三つの目標を掲げて臨みました。

一つ目は「キャプテンとしてみんなをまとめる」では最初は気合が入らず下の学年に対して見本にならなかったけど頑張って声を出していたらみんなの気持ちも少しずつ高まっていったと思う。

二つ目の「低くて正確で強烈なタックルをする」という目標では練習で積極的にタックルしたけど飛ばされることが多かったが試合では勇気を出して飛び込んだタックルが数本決められた。

三つ目の「ポイントで左右を見てフィールド全体に気を配る」ではバックラインやフォワードの動きに気を取られボール出しにもたついてしまったが県大会までにもっと練習を積んで克服していきたい。

全体の感想としてはチーム力は全体的にアップしたと感じるしジャンボリーの試合でも勝つことが出来たので、今年はさらにレベルアップが出来たと思う。

三つの目標では少し悔いが残ってしまったけど小学校生活最後の合宿で充実した結果で終わって良かったと思う。

夏合宿を終えて

6年バイスキャプテン 三沢 一海

今年の合宿は、6年生だけあってとても練習がつかったです。タックルやパス声だしなど基本的な事を今年ががんばっていかうと思っていたけどやっぱり初日の午前中の前半は、声が出ない状態が続いて初日の午後になって声が出はじめたのもっと早くちゃんと声をだしていけるようにもっとがんばっていきたいです。

二日目は、初日にうった首が朝起きたら、ものすごく痛くて部屋の人に起こしてもらったぐらいでした。そのせいで練習にもあまり出られずくやしかったです。午前の試合では、みんな気合が入っていたと思うけどもう少し声が出ればもっと早くトライをうばえたと僕は思いました。二試合目、ぼくも出さしてもらいました。試合中は、トライが取れそうな所があったけど相手チームにタックルに入られて取れなかったのでもくやしかったです。それでも最後にトライを取って試合に勝てたのは、みんなが一つにまとまってチームプレーができたからだと思います。試合中に相手のハーフに首をふまれてよけいに痛くなって午後の練習は、ほとんど出られませんでした。だけど見ていて最後には、みんなの気合が伝わってくるぐらいすごかったと思います。

夜の焼肉では、去年歯が折れてほとんど食べられなかった分も今年は食べてやるぞ！と思っていたけれど、そんなには食べられず、それが唯一のこころ残りです。でも、焼肉のときには、ゆうりも戻って来てみんなそろったので楽しかったです。

最終日は、五年との試合やこれまでなかった「コーチとの試合」がありました。五年との試合で後半すぐに一本取られてしまったけどあれは、まぐれだと思うので今後は絶対に五年との試合ではトライを取らせないようにしていきたいです。「コーチとの試合」でみんなすごくがんばって勝ったのだと思います。最後のランパスは、六年一丸となってできて良かったです。

最後の合宿で残念な事もあったけど、とてもいい合宿だったと思います。

合宿で学んだ事

6年 野川 亮

ぼくは、小学部最後のラグビー合宿でいろいろな事を学びました。夏合宿の前後で変わった事は、ボールを両手で持てる様になり、片手で持っていた時よりワンテンポ早くパスを出せる様になりました。更に両手で持つとプレーにはばができて片手の時より楽にプレーが出来ました。

次に当たり方です。まっすぐ強く当たれる様になりました。声も以前より出る様になり、合宿後は声がかれて出ませんでした。

菅平賞をもらえてとてもうれしかったです。

県大会に向けて三つの目標をたてました。

- ①コーチの期待にプレーで応える。
- ②去年負けた川崎に勝つ。
- ③県大会で全勝優勝することです。

これからも、校長、コーチの皆さん、ご指導宜しくお願いします。

最後の夏合宿

6年 梅津 誉

ぼくは、今年が最後の夏合宿だったので、気合を入れてがんばろうと思っていました。練習中、気合が入っている時はがんばれました。けれどつかれたりしてくると、気合も入らなくなって声も出せなくなり、タックルも高かったりしてしまいました。他県のスクールと試合をした時は、タックルも低く、あたりも強くできよかったです。5年生との試合では、少し気合がぬけてしまいました。

今年の合宿は、とてもきつかったです。これからは、この合宿の練習をいかして県大会は優勝したいです。

最後の夏合宿

6年 赤池 勇大

今年の夏合宿は6年最初の合宿であり、小学校最後の合宿でもありました。8年間で教わった事を生かして合宿に臨みました。みんな去年よりはるかに気合いが入っていて、一日一日が忘れられない、思い出になりました。

何といっても サニアパークでのジャンボリーで二勝出来たことが とてもうれしかったです。二年～四年までは 負け試合ばかりだったけど 五年の夏合宿から少しずつ変わってきました。それはチームワークがよくなってきたからだと思います。

残念だったのは 熱中症で倒れてしまい それ以降の練習にほとんど参加できなかったことです。倒れた時に 麻生の人たちや 他のチームの人たちにも 助けていただきました。本当にありがとうございました。

チームキャプテンのきっぺいは チームの中で断トツ声を出していました。怪我で出れなくなったかずみも一人ひとりにアドバイスをしてチームを盛り上げてくれました。菅平賞のりょうは 仲間をフォローする言葉をかけたり 僕がランパスについていけなかったときに「ゆうだいに合わせろ」と声かけしてくれて とてもうれしかったです。フォワードキャプテンのようへい てつ や にじと や ゆうり 同じポジションのげんと一緒に練習していた中で みんなの気合のオーラを感じました。バックスの司令塔の りょうすけは様々な場面での冷静な判断がすばらしかったし ウイングのまさひろは スピードがあって攻撃も守備もすぐれていたと思います。りょうたろうは 相手が けたボールを一度も落とさずキャッチしてチームの

勝利にこうけんしてくれました。ほまれば スタンドとかボックスが足りなくなったときに どのポジションにも入れるオールラウンドプレイヤーだと思いました。本当にいい仲間たちです。

大きくなってきた僕たちのタックルやとっしんは 相当ダメージがあると思うけど

コーチたちは いつも体をはって受けてくださいました。

校長のご指導は ていねいでとてもわかりやすかったです。

こういう僕たちになれたのは コーチのみなさんのおかげです。

次の大きな目標は県大会。みんなで全勝優勝めざそうな！！

夏合宿をおえて

6年生 岩野 将大

僕はこの合宿でセンターポジションを主に練習しました。センターはクラッシュであたるのでウイングよりもたくさん気合いが入ります。試合でも両方のポジションが出来て良い経験になりました。

それなのに二日目の最後の練習で足を痛めてしまい、最終日の5年生との試合に出られませんでした。

悔しかった。けれど最後のランパスは具合が悪かった3人もまざり全員で出来たのでうれしかったです。

県大会はチーム一丸となっていどめると思います。

悔しい思いをした夏合宿

6年 西野 稜祐

僕の合宿の目標は、誰よりも声を出して菅平賞をとることだった。

朝から練習が始まった。練習はけっこうハードだった。特にランパスではボールに夢中で声を出せていなかった。

試合形式の練習では自分の位置を吉兵に教える声を出すことに努め、ある程度はできたと思う。また、ウイングのフォローもできていたと思う。そして、夕方の練習ではコーチに対してタックルをすることができた。

サニアでの試合は、どれもよい結果だった。中条はチームで戦い、相手よりも勝ちたいと思う気持ちが上回っていたからこそ勝利できたと思う。

5年生との試合では自らのミスで1トライを許してしまったので残念です。5年生との試合の後は、菅平賞の発表があった。結果、僕の目標を果たすことはできなかった。

最後の合宿

6年 大森 鐵乃祐

今年の夏合宿はぼくにとって最後の夏合宿だったので思い切りやろう、と決めていました。

一日目、いつもより少し厳しい練習だったけど、がんばりました。ショットガンはいつも声を出してがんばっていたけれど、合宿だから今までとは比べものにならないほど大変でした。が、少し時間が経つとみんな元気にふざけていました。

二日目はいよいよ試合。気合を入れて午前中の練習をしました。そして、バスに乗り、試合が行われるグラウンドに向かいます。最初の試合はみんなががんばって何とか勝ちました。二試合目は始めにトライを取られて、取り返し、また取られて取り返しを繰り返したのですが、残り時間が少ししかないところで、「りょう」が1トライとって来て何とか奇跡的に勝ちました。ぼくはうれしすぎてたまりませんでした。午後の練習。始めは何ともなかったのですが、次々と練習を休んでいくチームメイトが出て、残りのかかなり少ない人数で苦しい練習をしました。ですが、その夜バーベキューでめちやくちや楽しみ、その後は花火を見てとても楽しみました。

三日目。最後の練習で、三年から六年そしてお母様がたと一緒にランパスをやりました。その後、菅平しょうの発表をしました。六年の菅平しょうはやはり「りょう」でした。これで全部終わった、と思っていたら思いもよらないショットガンをやりました。

練習は厳しかったけど、楽しい合宿でした。

夏合宿

6年 東野 遼太郎

ぼくは、この夏合宿でいろいろな経験をしました。

とくに1番身についたと思ったのは、声をだすことだと思います。合宿前は、2割から3割でいどだったけど、合宿後は7割でいどさせたから残りの3割をこれからがんばりたいです。

試合では、声も出してチームが協力して勝てた試合だと思います。

これをバネにして県大会でもいい試合をしたいと思っています。

最後の夏合宿

6年 小山田 弦

3年、4年、5年と続いたこの夏合宿も最後になってしまった。このメンバーでやる最後の特別な三日間だった。バスの外は雷と大雨がすごくて、菅平は大丈夫かどうか心配だった。行くときもテレビで「長野県一帯が大雨になっている」などと聞いていたことを思い出し余計不安になった。バスの中で自分が班長になったことを告げられた。光栄にも感じたが不安もあった。到着して外に出ると「ドッカーン」とまではいかない程度の雷が落ちた。班長が呼ばれる時もピカピカッとは光っていたが、なんとか持ちこたえたようで、次の日の朝は大丈夫だった。

一日目の朝、最初の三浦校長の走り込みで疲れてしまった。だがまだ練習はある。まず目標をいうことで始めました。「ぼくはコーチを倒したいです」この言葉でなんとか〇をもらった。そのあと昼まで死にそうになった練習。その後にもたまたつらい練習。

終わってホテルに帰り、風呂に入り夕食を食べてその日の夜は眠る。が、出来なかった。12時に部屋に、見回りのコーチが入ってきたため僕は起きてしまった。ついでなので皆がちゃんと寝ているかどうか確かめて、最後の子供を見ようとしてまぶたがおちてごうちんして、4時に3年の寝ぼけキックをくらいまた起きた。今何時なのかをしらべまた寝た。二日目は六時ころにふった雨のせいで朝は走り込みになってしまった。

その日は試合があるというのに……。そのあとバスで試合に向かい、二戦二勝という成績だった。もしも負けていたら帰りがバスなしだったのです。そのあと少し休んでから昨日の練習+コーチたちとの試合でまた疲れてしまった。だからすぐにお風呂に入らずに夕食の焼肉と花火になってしまった。

三日目最後の最後の練習になってしまった。まず軽く体を温めて、コーチ VS コーチの試合を観戦しながらご飯を食べて、まず5年と試合をして圧勝、コーチとの本気の試合では3対2で勝てた。ランパスも終わった。校歌も歌った。合宿が終わったと思った。そのあと最後の、ショットガンをやることになった。

合宿場から麻生に帰ってきた。行くときに泣いていなかったセミも泣いていた。帰りは寝ていて何も知らなかった。起きるともう麻生だった。「さよなら菅平」

気持ちで負けない

6年 曾我 鷹平

この合宿を通して学んだことであり、反省すべきだと感じたことは、ひとつひとつのプレーに気持ちを込めることが大切だということです。

やっぱり気持ちが入っていれば、声も出てくるし、練習で積み重ねてきた自分の持つ力を、発揮させることができると感じました。

合宿でやったふたつの試合の勝因は、気持ちで勝っていたことだと思います。逆に言えば、相手に点を取られてしまうのは、声も出なくなって、みんなの気持ちがいぼんでいた時だったので、気持ちが入っていなければ負けていました。

声を出せば、気持ちが入るし、気持ちが入れば、さらに声もでます。これから、フォワードキャプテンとしてみんなをまとめる時にも、声は重要だと思うので、合宿では声が出せなかった分も、とにかく声をだしていきたいと思っています。

夏合宿

6年 古野 裕理

ぼくは今年の合宿で得たものが沢山あります。

まず一つは低いタックルが少しできたことです。できた時は校長にほめられてうれしかったです。二つ目はチームで団結することができたことです。つらい時にもチームではげまし合うことができて良かったと思います、夏合宿が終わってもこのまま団結することができると思いました。

あとこのチームでいられる半年間を大切にしようと思いました。

最後の合宿

6年 室井 虹翔

今年、小学校最後の合宿! 同じメンバー、コーチ達と来るのも最後でちょっとさみしい気持ちでした。

今年の練習は思っていたより、バテませんでした。今まではバテて出来ないこともあったが、気候も良かったせいかわざらでした。あと、今までと違っていたのは、グラウンドからの帰りはみんなで走って帰ったことです。

この合宿でチームワークが少し深まった気がします。

だから、2日目の佐野と中条の試合はいい試合が出来ました。

このメンバーでのチームワークをいかして県大会でも頑張りたい成績を残したいです。コーチのみな4日間ありがとうございました。

最後の夏合宿

6年 田口 吉兵 母 田口 富美

現在高3の長男のころから数えますと今年で10回目の菅平合宿でした。

長男も吉兵も最終学年を迎えた今年の合宿は我が家にとっては完結編という感慨深い想いでした。

その想いに応えられるように子供達は沢山の感動を与えてくれました。

どんな状況でも前に向かって食らいついていく全員の姿は子供たちの無限の可能性を感じるものでした。(大人が忘れかけている事さえ蘇らせてくれます。)

コーチの皆様このまま熱いご指導で!!(感謝)

父母の皆様引き続き楽しくサポートを!!(感謝)

そして県大会、卒業と美味しいお酒を飲みましょうね。

最後の合宿

6年 野川 亮の母

亮にとっては小学部最後の合宿でした。どんなに厳しい合宿になるのか、期待半分、不安半分で菅平に向かいました。

土曜の午前から校長、コーチの厳しい指導が始まりました。子供達は真剣な面持ちで話を聞き、何度もやり直しをさせられながらも、お互いを励まし合いながら、ラグビーに取り組む姿は頼もしく見えました。交流試合でも、各自が練習の成果を発揮し、いい結果を残す事が出来ました。この合宿でメンバー全員が精神面でも成長した様に感じました。県大会に向けて、更に充実した練習を重ね、試合に臨んでもらいたいと思います。

校長、コーチの皆様、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。残り半年余りとなりましたが、宜しくお願い致します。

そうは問屋が卸さない

6年 赤池勇大 母 赤池操

初めて菅平合宿に参加した三年前、我が子どもたちの向こうで(笑)投げ飛ばされてはコーチに食らいつき 何度も何度も果敢にコーチに向かっていく 健気で真摯な六年生の姿に 思わず涙した私。さらに夜の懇親会では 当時の六年古田チーフコーチが 目を真っ赤にし 首には お風呂あがりか??はたまた

た 矢沢ファンか??と思わせるバスタオルを巻いて 皆の前に立たれた。私のそばにいらした 古田コーチの奥様がその姿を一目見て「やばい…(ご主人)絶対泣く」と呟やいた。その後はご夫婦による感動のスピーチがあり「ああ!!これが菅平なんだ。猪越さんが 菅平行ってごらんよ。感動するよ～って言ったのは この事なんだ!!」と 三年後の我が息子たちを想像して 早くも胸がジーンとなったのだった。翌年の六年生も その次の六年生の姿にも 沢山の感動を頂いて さあ!!いよいよ我らの番!!と 十年ぶりぐらいに高速道路を運転して 睡眠三時間の夫とともに いざいかん!!菅平へ。

う～む…よしよし。出足は好調。毎年毎年 TENT 組の息子が 何だかよく頑張っている。成長したな。でもまだまだ。これからこれから。こんなもんじゃないはず。感動はこれからよ～。去年も試合後の練習は集中力に満ちて

感動したからね。まだ涙は取っておかなきゃね。

サニアパークへ向かう時に見た青空は 抜けるように青く 糸のように細い何本もの筋雲が ふわりと優しくたなびいていた。同行の母たちと「さわやかなお天気だね～」と 皆で見る おそらく最後の菅平の青空に見入った。

舞台はそろった。第一試合 快勝。休憩屋食をはさんで しばしの練習の後

第二試合。素晴らしい!!またまた勝っちゃったよ。今回の合宿第一日目 母たちは「子どもたち 強くなった…かもね??」「うまくなってきた気がするよね??」 子どもたちを信じたいけれど 半信半疑の母たちは自信なさげに

語尾を曖昧に 疑問符をつけた。でも この二試合を観戦してみて やっぱり そうなんだよ!!…子どもたち強くなったんじゃない?????…

…かな～り確信には近づいてきた…かもね??。笑

試合を終え TENT に戻って来た我が息子は「頭が痛い」と言って 足が絡まるように芝の上に倒れた。たまたまスグ傍にいらしゃった牧野コーチが「動かしてはダメ」と。その後 テキパキと熱中症発症時の対策を指示してくださった。いつの間にか息子の周りには「まっ白いラガーシャツを惜しげもなく提供して体の下に引いてくださる人」「沢山の団扇をリュックから出して提供してくださった人」「その団扇であおいでくださった人」「駆けつけて息子の状態を医療的に把握してくださった人」「息子に励ましの言葉をかけてくださった人」「タオルを貸してくださった人」「我が家の車をサニアパークから夫の待つ救急病院まで運んでくださった人」「夫を山光館のグラウンドから病院まで連れて行ってくださった人」「担架を支えてくださった人」「私の荷物を持ってくださった人」「氷を提供してくださった他チームの方」「診察をしてくださった病院のスタッフ」「病院まで付き添い 時折お部屋まで様子を見に来てくださった人」「ご迷惑を沢山おかけしてしまったのに 大きな心で見守ってくださった学校のコーチの皆さま そして 仲間たち お母様方」私はこの時 母として表面上は冷静を装っていたが 夫に連絡をし声を聞いた時 思わず泣きそうになった。不安だったから??それも少しあり。でも一番大きな要因は このように沢山の皆様のお力で 息子が生かされているという事を 目の当たりにできたから。本当にご心配とご迷惑をおかけしたことを この場で改めてお詫びをすると同時に 様々な お力添えに心中から感謝し また このような素晴らしい感動を与えてくださったことにも深く深くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

まだ終わらないの??長いよ～ という声が聞こえてきそうですが…ごめんなさい。まだ話は続きます。笑

このことで 息子は急患用の部屋で様子を見ることになった。母としては 息子の体調が急速に回復してきたことで またまた いつもの欲が戻ってきてしまった。笑 試合後の あの練習にどうして我が子はいないのだ。どうして私はあの感動を味わえないのだ…涙

そうこうしている間に 雷が鳴り 強い雨が降り始めた。その雨の音が少し弱くなったころ 六年の仲間たちが 元気な掛け声とともに綺麗な二列隊で ランニングして戻ってきた。…息子はベットからすぐさま起き上がり 窓際に走り寄って彼らを見つめた。

息子も あの中に入っていたらうな…胸がキュンとした。

とうとう菅平最後の翌朝。宿からグラウンドに着いて息子の姿を探す。

あれ?? いない...???.

息子は まだテントの中だった。

思わず「どうしてテントの中にいるの??？」

「だって医者が明日の午前中まで練習ダメって言ったじゃん」(全く.. こういう時だけ生真面目なんだから怒)...

「んもお～!! あ・の・ねえ～あんたそれで本当にいいの?? もう最後の合宿なんだよ!!」ふと 足元を見ると なんとサンダル。怒「ちょっとスパイクはどうしたの??」「置いてきた」..... 涙涙.....

なんだかな～～～こんなはずじゃなかったんだけどなあ～～～

ガックリした。しかし かなり時間はたったが 息子自ら仲間の元に入っていった。

「そうだ!! その調子だ!! 母もランパスがんばるぞ～」呼ばれもしないのにレインシューズを脱いで ランパスの準備をした。

どこまでも単純な 母の感動の夏は こうやって 少しだけ お預けとなったのだった。

最後になりましたが 合宿を陰で支えてくださった五年生のお母様方と体を張って子どもたちをご指導くださいましたコーチの皆様へ 心からお礼を申し上げます。そして 卒業まで どうぞよろしくお願いいたします。

次の感動は 是非とも県大会で!! ね?

夏合宿

6年 東野 遼太郎 母

夏合宿おつかれさまでした。

暑い、頑張ればぶつかって痛いおもいもしたと思うけれど、みんなに励まされながら、乗り越えられたと思います。

チームみんなが成長し、変わってきたようです。

夏合宿での経験がこれからにつながっていくのを楽しみにしています。

夏合宿

6年 古野裕理 母 千津子

二度目の合宿応援参加でした。裕理は途中半日、都合により合宿を抜けなければなりませんでした。練習中は今までにない粘り強さを見せてくれました。チーム全体としては、声もよく出ていて明らかに去年とは違うチームになっていることを練習、試合を通じて感じました。諦めない、自分の仕事をやり遂げる、みんなで補い合うという課題がクリアされつつあると感じました。子供達の努力もさることながら、指導くださった校長、コーチのみなさんのご努力に感謝します。

県大会が本当に楽しみです。

ありがとう!夏合宿

6年 室井 虹翔 の母 室井 貴代

とうとう最後の夏の合宿が終わってしまいました。

3年生から親子共々参加させてもらい、毎年感動をもらって帰った菅平合宿。

今年は、「つらいつらい苦しい夏合宿」のイメージではなく? (母だけ)

コーチの皆様はひとつひとつのプレーを確認し合いながら、仲間の大切さ・思いやり声を出す大切さ、そしてチームワークの大切さを確実に子供達に伝えて下さいました。

そしてみるみる成長し技術面でも力をつけてきた6年生。

これって!本当にあの子供達?と思わせるくらいかわった6年生。

負けて当たり前だったこの学年の子供達が、やっと...勝利欲が出て、「勝ちたい」「やれば出来るんだ」

「勝つんだ」という気持ちになってきました。

す・ご・い。もう感動です。

今のこの気持ちを県大会まで持続させ、子供達のモチベーションを最大限にアップして(これが難しい?)も
らえれば、結構いいところまで行くメンバーがそろっています。とにかく勝っても負けても悔いのない戦い
をしてほしい。

合宿最終日、最後のショットガンで虹翔がコーチに当たっている姿を見て私が「虹! 弱〜い!もっと強く〜」
と言ったら、牛山コーチに「十分強いです!」と言われ、「目で見ているより強く完全に力を出し切っていたん
だ」と感動した瞬間でした。

子供達もコーチも真剣です。

そして、その後の親と子供達との握手は目頭がウルウルまたまた感動でした。

体を張って(痛みをこらえて)ご指導してくださったコーチの皆様、本当にありがとうございました。感謝の言
葉しか出て来ません。

また、合宿担当の5年のお母様方、ありがとうございました。

そして、子供達たくさんの感動シーンをありがとう。

また、秋に感動出来る瞬間を楽しみにしています。

5年生



岸川コーチ 大森コーチ 亀田幹太母 山中康大母 中西コーチ 三沢コーチ 木下コーチ 安井コーチ
大坪コーチ 佐々木陽平・晃平母 梅津暁母 小作航平母 エラガデヴィッド母 山本凌介母 白川幹斗母
藤原卓也母 亀田幹太父
山中大治君 亀田幹太 佐々木晃平 梅津暁 山本凌介 山中康大 松岡コーチ 山本凌介父
加賀コーチ 小作航平 エラガデヴィッド 佐々木陽平 藤原卓也 白川幹斗

「気持ちは 11人で 乗り越えた菅平合宿」

5年チーフ 安井 絹子

5年生は 合宿を 9人ぎりぎり で スタートさせました。誰も 休めないし、誰も怪我できないよという状
況。最終日には 10人で試合に望むことができましたが もちろん 菅平にくるまでにもみんなで工夫し、
奮闘し、 全員が参加できるようにならないか健闘いたしました。ここは変えられないものを受け入
れる勇気を持ち、変えられるものを変えていく知を選択することに致しました。

結果、子供、ご父兄、コーチの奮闘が功を奏し 一人のけが人もテント休憩も出ずに、みんなでがんばることができました。これも 留守番組がみんなのことを考えてくれた賜物と思っています。ありがとうございました。

2日目の日曜日は、雨によるグラウンド使用時間延期により、菅平入り口付近まで歩き、待望の？坂道ダッシュも行えました。たまたま道のとなりがワセダのグラウンドだったため、大森さんに「見学するか？」と案内してもらってサプライズ付き！

サインプレーも身につけ、技術的にも成長した夏合宿。またミーティングでは、「目標の声が出せない」「思うように声がでない」という優等生的意見に対し「それは、出していると思っているだけで 事実でないし、今思っている倍以上出さないと 出ているようには聞こえない」と厳しいアドバイスをもらったり、フォローにいったときに、もし おいつけなかったら「遅れた〜」でもいいんだぞ とアドバイスしてもらい個々に充実した合宿となりました。

問題、課題は山積。しかしそれよりも前に もっと彼らのできる部分に焦点を当て、何よりも勇気づけてあげることが必要と感じました。そして その過程において、さらなる努力のもと、勝ち という子どもたちにとっての喜びがついてくるのが5年生にとってのゴールです。

最後に 言葉にすると難しい具体的なゴールや目標がある中、全員が生き生きと心地良くスクール生活を送ってほしいと願う私としては、ゆるく見えてしまいがちなスローガンや練習、目標になってしまうことも添えさせていただいて 合宿万歳！と 致します。

合宿お手伝いに参加して下さったお母様方。

小作さんを筆頭に 本当に本当に、ありがとうございました。これからも応援、熱さ対策等でお世話になります。

よろしく願いいたします。

安井チーフが引っ張る5年生の夏合宿

5年サブチーフ 木下 義之

今年は日曜日、一日の参加になり申し訳御座いませんでした。前日の夕方大雨が降ったようで、朝練習がグラウンドで行われず、練習開始時間及び試合開始時間が変更され、コーチ達も戸惑いのある中、子供達は元気にランニングから戻って朝食、ワイワイ仲良く食べる光景は合宿ならではの光景です。5年生は、合宿まで体力アップと気持ちを強くする為に走り込み中心の練習を行ってきました。今年の暑さは「異常気象」と言われる中、子供達は一生懸命試合・練習に励み、9人制のラグビーを習得していました。夏休み明けからは、激しい当たり・タックルを含めコンビネーションを練習し、県大会では、全勝したいと思います。

2010年5年生コーチの夏合宿

5年コーチ 加賀 司

今年の反省は、合宿前のコーチミーティングができず、宿舎到着後の宴会を中座して行ったため、5年ママ達が盛り上がったと言う後半の宴会に参加できなかったことと合宿前に痛めた左ひじの影響でガンガンと子供達にタックルが行けず、最後のランパスではひざが言うことを利かず1回しか参加できなかったことです。来年はもっと準備をしないとイケないですね。

さて、子供達の話ですが、今年も5年生は9人(+途中暁が参加)の少数精鋭の子供たちです。

コーチは仙台や福岡からも参加し、日曜日からは久しぶりに中西コーチも朝からスタンバイし、山本、亀田パパを迎え、春からの坂道ダッシュやコの字走などの成果からテント組もなく、実り多き練習ができたと思います。今回はバックスのポジションをSO陽平、CTB晃平、WB幹太・幹人、FB稜介と変えましたが、特に稜介は不満げな感じでしたが、なんとか自分の役割を理解してくれました。

日曜日のジャンボリーでは5・6年混合チームや前後半3人が入れ替わるチームに対して自分たちで考えた試合ができるようになり、今後も個人レベルでの意識と行動力を鍛えて行けば県大会では？？？

また、6年生との試合ではすごく高い壁ではありましたが、練習の成果が随所に現れ、2次・3次攻撃まで展開した時にはぐっと来るものがありました。

夏合宿を終えて

5年コーチ 大坪 功

私自身、5月末から当学年を担当する事になったばかりで、また親コーチとは違う立場で望む初めての夏合宿になりました。そして花火師になって二年目。。。心配していた天候にも恵まれ、普段詰めて出来ない練習を中心にしっかり出来たと思います。技術面の向上はもちろん、チームの結束力も出てきたと思います。県大会優勝に向け、週一回の貴重な練習を有意義なものにする為、これからも三位一体頑張りましょう！！

三位一体

5年コーチ 赤池康彦

5年生での夏合宿、この言葉を体現するものとなりましたね。今年も”いろんな”いい顔を見せてもらいました。ありがとうございます。

■子供たち

”どうやって自分がトライをするか”を考える思考から一歩進んで、”チームとしてトライをとるために自分はどうするのか”考える基点となった合宿でした。ラグビーに取り組む視野が広がり、新しいサインや動きを吸収、楽しい内容の練習ができたと思います。キャプテン、バイスカプテンご苦労さん。みんなを引っ張ろうという気持ちは伝わったよ。幹太、菅平賞おめでとう。

■お母さん方(と亀田コーチ)

合宿担当、お疲れ様でした。例年同様、いや、それ以上にチームワークと細部に渡るケアが素晴らしかったです。来年は最終学年となる子供たちのがんばる姿を、しっかり目に焼き付けてください。

■コーチ陣

安井新チームの頑張りとサポートするコーチ陣のスクラムで新体制となって初めての菅平は成功でした。新しい事にチャレンジする時は失敗したり、一歩踏み出せず躊躇する事もありますが、失敗を恐れず、子どもたちが成長するように、私たちコーチ陣も成長しましょう。

イイ感じ

5年コーチ 松岡 智

ラグビーは、瞬間にいかに速く・強くプレーできるかという個人スキルも重要ですが、それだけでは試合に勝てません。チーム戦術を備え、仲間を信頼して戦うことが出来るチームこそが勝利します。5年生の君たちは、4ヶ月の坂道ダッシュで大きな自信がついたよね。そして合宿でサインプレーを学んで、少しだけその「本質」に気付いたように思います。まだまだですが、とてもイイ感じですよ。そこで、根拠はないですが、吟じさせてもらいます。みんな怒らずに聞いてください。6年の県大会までに～日大グラウンドの坂道を～300本以上ダッシュしたならば・何だか優勝できそうな気がする～ あると思います！（笑）

5年 佐々木 晃平

夏合宿では5年生と試合をして大差で負けしまいました。でも点差は開いてしまったけど4年生は自分たちの力が出せたと思います。キャプテンの凌介はおなかが痛いと言っていたけど走りぬいて1点取ってくれました。ぼくも自分が苦しいときにみんなのためにがんばる気持ちの強い人になりたいです。そして今年こそ県大会で優勝したいです。

5年 佐々木 陽平

ぼくはみんなががんばっているのに一人だけ休んでいた時間が多かったので反省しています。来年はみんなより倍がんばりたいです。そしてできれば「菅平賞」を取りたいです。

みんなでのりこえた夏合宿

5年 山中 康大

ぼくは今年で3回目の夏合宿参加で、前から決めていたことがあります。それは声を1日中、120%出すことです。これまで練習でも試合でも声を出しているよう出せてなく、みんなには指示が伝わってないことがあり、特にバックスのサインをフォワードはわかっていないのではと思っていました。だから今回の合宿ではサインをみんなでくりかえして声に出してみんなで確認するようにしました。もうひとつはパスがうまくなることです。チャンスで自分のパスがうまいか、トライに結び付けなかったことがあり、それがとてもやさしかったからです。今回の合宿では1回ミスはしたけれどコーチにしっかり教えてもらい上達することができました。

次に今回の合宿ではみんなでやりとげたことがあります。それはサインプレーです。フォワード、バックスそれぞれにサインプレーがありおぼえるのはたいへんでしたが、みんなでつくれたことがうれしかったです。特に京都戦では、クロス、カラクロというサインを使いトライをとれたので最高にモチベーションがありました。

最後にこの合宿で心に残ったことがあります。それは6年生との試合です。絶対にトライをとろうと決めていましたが、前半で0-5となってしまいました。それでもモチベーションをみんなであげ後半に1本トライをとることができました。最後は6年生の力を見せつけられて1-8で負けてしまい、みんな悔し涙でいっぱいになりましたが、それで心がひとつとなり最後のランパスではみんなでやりとげることができました。合宿は苦しいけど、みんなでがんばることでチームがひとつになれるのだということがわかりました。

「夏合宿」

5年 藤原 卓也

17日の練習はきつくて、特にアタックディフェンスの練習の時に足があまり動かなくて練習が長く感じました。

18日のジャンボリーの1試合目は相手に何本かトライを取られたけど、後半にBKが2トライ取ったけど負けました。2試合目の前に山本コーチに「1試合目BKで2トライ取ったから、2試合目はFWがトライを取って」と言われました。2試合目はぼくとデヴィがトライを取ってFWがトライを取れました。だけど相手のラフプレーで集中力が切れて2トライ取られて引き分けでした。ジャンボリーの試合は1分1敗でした。

その後の練習はアタックディフェンスの時も集中していて練習が短く感じました。

19日は17日より集中していたけど18日より集中していませんでした。6年生との試合は負けたけど、低いタックルに行けたのと、オーバーに入れたので良かったと思います。

「夏合宿」

5年 梅津 暁

今年の合宿は、2日間しか行けなかったけど、6年生の試合で低いタックルや前に突っ込めたのでよかったです。トライは全体で1本しかとれなかったけど、合宿で習ったことができたのでよかったです。これからも合宿で習ったことを県大会で使えるように、練習を大切に使っていきます。

夏合宿

5年 山本 凌介

ぼくは、夏合宿で初めてフルバックをやりました。

しかし、最初の一日目はどうのように動いたらよいのかと迷ってしまいました。

けれど、大坪コーチが分かりやすくサインの時の動き方や、ディフェンスの時どこにいればよいのかを教えてくださいました。ミーティングでも、大森コーチが「なれれば楽しいポジションだ」と言ってくれたので、迷っていたことが少しなくなりました。けれど、迷っていたのはぼくだけではないと思いました。晃平や陽平も新しいポジションで、新しいサインを数日間で覚えてやっていたので、ぼくみたいにいろいろなやみがあったと思います。

今年の合宿でフルバックをやって楽しかったです。今年の県大会は、フルバックで相手を一人も抜かせずタックルをきめ、チームの勝利にこうけんしたいです。

なつがっしゆく

5年 亀田 幹太

ぼくは菅平行きのバスの中で「今年も始まる。みんなについていけるかな。」と思っていました。途中のパーキングエリアで雨がはげしくなって「本当にできるのかな。」と思いましたが、グラウンドの一部分だけが使えなくなっただけだったのでほっとしました。最初のコの字ダッシュはとてもきつかったけれどなんとかのりきれて、今思うととてもがんばっていたと思います。最終日の6年生とのしあいは、絶対勝つという気持ちでのぞんだけれど、1トライを取れただけで負けてしまって、くやしなみだが出てしまいました。毎年こうらしいのランパスは、体力がついたのか、去年より楽なきがしました。そのあとぼくが菅平賞をもらったけれど、もらえたのはみんながささえてくれたからだと思いました。

「もっとがんばる」

5年 小作 航平

ぼくが合宿で立てた目標は「姿勢を低くして、ボールをしっかり持って当たる」ことでした。でもボールを持って低く当たるのは、練習でも試合でもあまりできなかつたけど、味方のフォワードやバックスが当たっているときに、フォローで相手の足に当たることはうまくいったと思います。でも、本当の目標は、自分が低く当たることなので、そっちをもっとがんばりたいと思います。他に合宿で思ったことは、2対1のアタックとディフェンスの練習で、アタックのとき、敵を十分に引きつけてパスしなくちゃいけないんだけど、初めはなかなかできなくてディフェンスを抜けなかつたんだけど、2回目にはできるようになりました。ディフェンスのときは、アタックの人にパスを回されて抜かれてしまったので、もっとディフェンスの方をがんばりたいと思いました。今年の合宿では、けっこうフォワードのフォローの足につくことを覚えて、フォローがやりやすくなったと思います。これからの練習で、もっともとうまくできるようにがんばりたいと思います。

< 夏合宿 >

5年 白川 幹斗

合宿は、苦しい練習もあったけど練習の後のお風呂やバーベキュー、花火が楽しかった。僕は、「みんなを引っ張っていきたい」と言ったけど、できたり、できなかつたりしたので、来年はちゃんとできるようにがんばりたいです。合宿の練習で、ショットガンやセットプレー・カラクロやクロスを教えてもらった事、6年生との試合での悔しい思いをした事、この気持ちを忘れないで、これからの県大会や練習に生かしていきたいです。
(出来たこと) 6年生との試合のとき、タックルが出来たこと。
(出来なかつたこと) 京都戦でラフプレーがあり、タックルがうまく出来なかつた。
来年は、絶対に菅平賞をとれるようにがんばりたいです。

友情の夏合宿

五年 エラガ デヴィッド

合宿に行く前は 坂道ダッシュが きつくて 練習に行くのが イヤだったでも 合宿に参加して たくさんの思い出が出来ました。山に囲まれての試合がとても気持ち良かった事、6年生が優しくしてくれた事、そして、一番心に残っているのがランパスでみんなが『デヴィ ガンバレ！ ガンバレ！』と、声をかけてくれて一緒に走ってくれた事は絶対に忘れません。みんなが いてくれたから 最後まで 走れたよ！ ありがとう！
みんなが 辛い時 今度は ぼくが 助けるよ！みんなは ぼくの大切な仲間 これからもガンバろう！！

< 夏合宿に参加して >

5年 白川幹斗の母 白川 真美

合宿担当学年の母として、3泊4日をコーチ・子供たちと過ごさせていただきました。
夏の陽ざしが照りつけたり、雨が降るなど変化の激しい天気の中、朝早くからがんばっている子供たち、試合で怪我をしても我慢し仲間を思いやる優しい子供たちをみて感動しました。
コーチ陣のラブビーに対する熱い思い、子供たちへの深い思いに感動し、麻生ラグビースクールにお願い出来ることの素晴らしさを再認識することができました。感動をくれた子供たち・5年母たちの絆・コーチに感謝の気持ちでいっぱいです。

「感謝！」

5年 小作航平の母 小作 照美

今年も夏合宿が無事に終わりましたね。
コーチの皆さま、本当にお疲れ様でした。そして、本当にありがとうございました。
今年は合宿担当ということで、春からいろいろと準備をしてきましたが、いざ合宿が迫ってくると「うまくいくのかな〜…」という不安がでてきて胃が痛い日が続きました。わたし、意外と小心者だったのね、と情けなく思ったものでした。でも、5年生の母たちは、年初から「私達は一番母が少ない学年だから、合宿は全員が合宿担当だからね！みんなで頑張ろうね！」と言ってくれていて、常に協力してくださいました。
おかげで大きなトラブルもなく、3泊4日、無事に乗り切ることができました。
5年生のママたち、本当に感謝しています。ありがとう！！
そしてママだけでなく、車担当の亀田パパ、あれ運んでこれ運んでというお願いを、いつでも快くきてくれて、すご〜く助かりました。ありがとうございました。あらためて、5年生のママの団結力を確認することができて、「私達が団結しているんだから、子供たちも絶対大丈夫！」という自信ができました。
子供たちが頑張っている姿をじっくりと見てあげる時間がなくて、そこは少々残念でしたが、教えてもらったばかりのサインプレーを交流試合で決めてくれた瞬間の感動！6年生との試合で合宿一番の気迫を見せてくれた時間！ラストワンプレーでキャプテンが自ら円陣を組んで「最後までガンバロー！」とみんなを一つにしてくれた瞬間！なんていい子たちなんだろうと、思わず涙が出てしまいました。5年の子供たち、よく頑張ったね。ありがとうございました。
それから、合宿担当の私達を常にフォローしてくださった6年生のママたち、よき先輩がいてくださったおかげで無事にお仕事ことができました。さすが！経験者は強いですね。至らない部分を補ってくださって、本当にありがとうございました！私達も、先輩方に続いて来年の担当ママたちをできる限りフォローしていきたいと思います。
先輩から後輩へ…素晴らしいですね！！
最後に、心もとなない私達担当を指揮してくださった重住副校長、そして三浦校長、本当にお世話になりました。素晴らしい合宿をありがとうございました。来年も菅平で感動しましょう！！

「楽しいラグビー」

5年 藤原卓也の母 藤原尊子

所用のため途中からになりましたが、初めて合宿に参加させていただきました。
卓也は合宿後「バーベキュー？花火？まあ普通。それより練習(特に3日目午後)が楽しかった」と言っておりました。
私が子供たちの様子をじっくり見たのは3日目午後の1試合とその後の練習のみでしたが、卓也は終始厳しく陰しい顔で、とても楽しそうには見えませんでした。彼の言う「楽しい」とは、肉体的にはきついけど、ラグビーの真髄に触れるような充実した奥深い練習ができた、ということだと思います。「楽しい」というと「そんなことではまだまだ練習はもの足りない」と思い詰める人もいらっしゃるかもしれませんが、本当の楽しさは、生ぬるい、もの足りない練習からは決して出てこないと思います。
もともと「下手くそでいいから楽しくラグビーをしてほしい」と、入校当初から私は考えていたので、そういう意味で今回の合宿は、卓也にとって大成功だったと思います。

県大会に向けて、いろいろと課題はありますが、課題が多ければ多いほど、難しければ難しいほど、ラグビーはおもしろい！少しでもそのおもしろさ、楽しさを体感できるよう、これからも見守っていきたいと思います。

合宿に関わったすべての皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。

佐々木父・母

昨年に続き、今回は2回目の菅平合宿を見させていただきました。昨年はすべてが初めてという新鮮さから「感激！」、今年は、昨年と比べ子供たちのさらなる成長に「感激！」したとともに、そこにはコーチの方々の熱心なご指導と愛情があったからこそだと「感謝！・感激！」しています。さらに私たちにも「新たなエネルギー」を頂いた貴重な2日間でした。

夏合宿

夏合宿だけ5年コーチ 亀田 直幹

久々にこの学年の練習に参加しました。普段は2年生を担当しているのですが、5年生は当たりも走力も桁違い。当然なのかもしれませんが、小さいころからみていた私にとってこんな彼らの急成長はとても感慨深いものでした。また、さすがに5年生の練習は専門的で高度です。試合も緊張感があってラグビーしているって感じです。観ていても面白い！

今回はコーチとしてだけでなく、少しだけですが5年生のお母さん達のお手伝いをさせていただきました。5年生お母さんの仕事は大変です。お母さん達のフォローあつての合宿であることを身をもって知る事ができました。皆さんお母さん達に感謝しましょう！

色々全部ひっくるめて、「あー楽しかった！」

夏合宿に参加して

5年生 亀田 幹太の母

今回初めて合宿に参加させていただきました。お手伝い役としてどこまでお役にたてたかわかりませんが、子ども達の頑張っている姿を間近で見られたことだけでも参加して良かったと思っています。これからは出来る限りお手伝いさせていただきますので今後とも宜しくお願い致します。

夏合宿に参加して

五年 エラガ デヴィッド母

この合宿で私自身感動する事が沢山ありました。初めは子供の合宿に親も参加？子供の習い事に親が関わるというのは正直理解出来ない部分もあったのですが合宿に参加させて頂いた事によって私の考えは全く変わりました！コーチの方達はこんなにも子供達の事を思っていて下さったのか。そして子供達も自分の事だけでなく、仲間を大事にし思いやる姿を目の当たりにして何度も胸が熱くなりました。又、今回一緒に参加したお母様方にも感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。こんなに素晴らしい方達に親子で出会えたことを、とても嬉しく思います。

4年生



- (1列目左から)・真山拓也・西野響太・濱田透唯・中司大也・大坪勇太・野川真・横島拓朗・寺田大起
・伊藤大吉・松田優一
- (2列目左から)・佐藤公亮・大森公乃祐・川原奨平・菅原健人・井上謙亮・安井健太・斎藤祐太
・萩原睦・宮澤朋輝・重住コーチ
- (3列目左から)・川原コーチ・武井コーチ・小作コーチ・渡部コーチ・山中コーチ・田口コーチ
・向野コーチ・濱田コーチ・宮澤コーチ

今年の夏合宿

4年生コーチ 小作 紀昭

現学年、二度目の今年は子供達 19 名が合宿全員参加、体調不良、大きな怪我なく、菅平から戻ることができました。具体的な個人目標を各々が持って、菅平で達成すること。やりきった感を言葉で言えるような 4 日間を過ごすことが私の目標でした。(私は金曜日が仕事となり、濱田号に同乗させて貰い、土曜の朝に入りました。)

4年生のコーチは熱い(うるさい? やかましい?)コーチが集まっています。

そのコーチ皆の声と気持ちで合宿前半は引っ張るだけ引っ張りました。しかしながら気がつけばコーチの声ばかり。。。コーチが一端、意図的にだんまりして練習を続けると4年生が山光館グラウンドでは一番静かであり、子供達が“コーチにやらされている時間”であることに気づきました。全員を座らせて、気持ちを声に出そう! と伝えました。

仲間に対する声かけ、「行くぞ〜!」「麻生頑張るぞ〜!」「気合入れていくぞ〜!」
台詞のような声掛けから、少しずつですがこの辺りの時間から彼ら自身の言葉が出てきたように感じます。

夜のミーティングではゲームキャプテンを決めました。両チームとも立候補する形となり、積極性が大変良かったと思います。チームキャプテンの大吉と響太が話し合いを進め、まとめました。

(紺:大勇太、赤:公乃示右、真の2名に決定。)

日曜日のジャンホリは2チーム参加、5試合(結果:3勝2敗)の勝敗は気にせず、取り組んだことをどの位やろうとするかを注視していました。

試合前には厳しく叱咤することもありましたが、前に出る強い気持ち、つなぐ気持ちを感じる良い内容でした。(悔し泣く気持ちが良かったです。)

この日は練習時間がほとんどありませんでしたが、17時40分頃ようやく山光館グラウンドに戻りました。30分間のわずかな時間でしたが、ハンスアップと強いパス、声かけを意識したランパスを繰り返しました。ジャンホリ

一の試合でやりきった感からか、自然な大きな声かけが聞こえてきた良い時間でした。ランパス後のグラウンドでのミーティングでは子供達からコーチに対して「ありがとうございました。」と自然な言葉を貰い、嬉しい(びっくり！する)時間でした。

3年生との試合はやり難さ？と気持ちのピークを超えてしまった感じが見られ、合宿の成果を感じることはできませんでしたが、来年の上級学年に向かっての交流戦を楽しみにしています。(3賞は赤チームコーチ賞：透唯、紺チームコーチ賞：奨平、そして菅平賞は大吉に渡しました。)

大吉の涙は成長を感じました。(今年の正月から続けてきたキャプテンの意識が高まったと思います。)
合宿全体としては全員の精神と体力が昨年と比べ、単純な1年の成長ではない向上を感じました。県大会が楽しみです。

夏休み明けから子供達は勿論、コーチも高い気持ちで練習を再開しましょう！
菅平マジックは決して消えないように、日大グラウンドで高めましょう！

「またひとつたくましくなったね！4年生！」

4年生コーチ 山中 淳郎

4年生の今年のスローガンは「one for all」(チームのため、仲間のためにプレーする)ですが、この合宿は年間スローガンに加えて「前へ！」という目標をコーチ陣としては持ち臨みました。昨年の合宿で一人ひとりがすごく伸びたので、今年も各人が何かひとつでも自信を持って帰ってもらいたいと思う中で、その方向性はプレーに対するアグレッシブさだろうということでの目標設定でした。

結果として今年も4年生は素晴らしい合宿を過ごすことができたと思います。特に課題であった独りよがりではなく仲間につながりということと果敢なタックルが二日目のサニアパークでの試合で随所に見ることができましたし、二日目の夕方に最終日より長く、速いランパスを全員でやり切りチームとしての一体感を作れたことが良かったと思います。

最終日の3年生との試合では、下の学年ということで受けにまわってしまい、半歩1歩出遅れるという悪いクセが出てしまいましたが、試合後自分たちで反省していたので、これもまた成長かと頼もしく見守っていました。菅平賞は、大吉が取りました。賞に値する素晴らしい姿勢で合宿に取り組みました。でも全員が大吉に負けず劣らず頑張ったから素晴らしい合宿になったと思います。本当は全員が菅平賞です！みんなほんとによく頑張ったね。

夏合宿が終わると秋の交流大会を経て、すぐ県大会です。このままの方向性でよりチーム力を高めて、最高の状態で試合に臨ませてあげたいと思います。ご父兄の皆様も暑い中応援をありがとうございました。これからも三位一体、暖かく見守っていただければとお願いいたします。

夏合宿を終えて

4年コーチ 渡部真久

私が麻生ラグビースクールに入校し、現4年生のコーチなって丸一年が過ぎました。

最初にみんなと会った印象は「こんな小さなときからラグビーをやるなんてすごいな」と思う反面、「声を出すことは難しいことなのだな」と感じていました。

この「声」を出すことの難しさは、学年が上がるにつれて求められる声(指示)の質も変わってきますのでずっと感じ続けることだと思いますが、少なくとも今年の夏合宿を経て4年生のみんなは大きく変化(進化)したと思います。

みんなの気持ちを盛り上げるための「いくぞー、がんばるぞー」という声、ディフェンスに走りこむときやタックルにいくときの「ウォー」という雄たけびのような声、パスをもらうときの「右・左にいるぞ」という指示の声。

これらの声が出せるようになって、限られた数名ではなくみんなが何度も何度も果敢にタックルに行き、二人、三人、四人とパスがつながるようになりました。

試合結果とは別に、サニアパークでの試合のあと感動して少し目が潤んでしまいました。

さて、これからが「本番」です。

夏合宿で成長した部分に更に磨きをかけ、足りない部分(下のボールに対する意識、モール・ラックでのボールの出しかた、そして闘争心など)を補足して(コーチのみなさん練習メニューを考えましょう)、県大会でひとりひとりが納得できる成果を出せるようにしていきましょう！

「夏合宿を終えて」

4年生コーチ 向野 禎明

夏合宿、お疲れ様でした。私は、今回初めての参加でした。ご協力を頂きました、ご父母の方々には、お世話になり、誠にありがとうございました。

また、子供たちに大きなトラブルが無かったのは、参加されたコーチ、サポートされたご父母のご協力があったからだと思います。本当にお疲れ様でした。

今回の合宿では、コーチとして子供たち決めた目標を達成させてやるということ、そしてそのために各人の力を限界まで引き出させるということを意識して取り組みました。

とにかく必死で子供たちが取り組む姿勢をずっと見て、感動をし、そして、すべての練習を終えた子供たちの自身に満ちた目に又感動をしました。

各人はもちろん大きく成長しましたが、チーム全体が非常によい雰囲気になり、まとまりを見せてきたと感じています。この雰囲気を継続できるようにすること、それは、コーチの腕の見せ所なのかもしれません。県大会に向けて一層がんばっていきたいと思います。

4年生みんなへ

2回目の合宿はどうだったかな？目標は達成できましたか？本当にお疲れ様でした。

この合宿で走ったこと、笑ったこと、泣いたこと…是非忘れないでください。みんなは、4日間の合宿をやりきりました。是非自信を持ってください。10月からいよいよ県大会に挑みます。この気持ちを忘れずに、また一緒に日大での練習に取り組み、そして、満足のいく結果を残しましょう。

「熱い(暑い)菅平」

4年生コーチ 田口 幸吉

今年の菅平は更に「暑い」という印象でした。

日中の暑さは毎年上昇している感じがします。

自分の体力の衰えなのか、気力の減少なのか、体重の増加なのか、この暑さのせいなのか今一つ身体が動かなかった感じで合宿を終えてしまいました。

今振り返れば「熱い」気持ちも少々不足ぎみだったように思います。

子供達は良く頑張ったと思うし、今後の成長が楽しみにできる内容で終えることが出来たと感じています。

コーチとして来年以降は更に体力、気力が必要になる事は実感していますし、「暑い」菅平で更に「熱い」コーチングが出来るようにしたいと思います。

そしてこのチーム全員で更に「熱く」なって終わりたいと思います。

4年生の合宿を終えて

4年生コーチ 武井 智之

私がコーチとして、合宿に参加するようになって約10年になりますが 熱中症予備軍いわゆる「テント組」がほとんどなかった学年です。

挫けそうになった子供達も何人かいましたが ちゃんと自力で涙をかみ締めながら グランドに復帰していました。

日差しの強い中 気温もグングン上がり 体力的にもかなりきつかったと思う中で 鬼のようなコーチ(私かな)の激しいコーチングにも 悔し涙を流しながら がんがん突き進んでいました。

お父さんお母さん お子様の あんなに頼もしくかつ頑張ってる姿を来年は是非御覧になってはいかがでしょうか。

「本当に子供達はカッコいいですよ」(涙)

「夏合宿」

4年生 伊藤 大吉

ぼくの夏合宿の目標は声を出してチームをまとめるという目標でした。今年はこの目標で夏合宿にいました。

ぼくが一番がんばった練習は「ヘッドダッシュ」という練習です。その練習のポイントは3つあって、1つ目はドライブ、2つ目は後ろにふり向いて手をのばしてケツでおすこと、3つ目はダウンボールです。そのためには4人目のラックかモールかの大きな声が必要です。

そして最後のランパスは全力でがんばりました。

その結果は菅平賞をもらえるようなとてもすごい結果でした。とてもうれしかったです。

4年生 井上 謙亮

合宿の目標にしていたオーバーができてうれしかったです。練習じあいの時にタックルをして相手をたおすことができました。日ごろのいたくて、つらいタックル練習のせいか少し出せてよかったです。これからは秋の県大会にむけて練習をがんばっていきたいです。

「夏合宿感想」

4年生 大坪 勇太

僕が夏合宿で出来た事は、目標だった正面タックルを、おもいきり出来た事です。

あと、ゲームキャプテンに立候補して、みんなが元気ない時、声を出して、みんなを引っ張るよう頑張った事です。

出来なかった事は、声を出して、パスを貰う事です。パスを渡す事は出来たけど、貰う事が出来てないから、もっと、大きな声を出しながら、フォローすれば良かったと思います。

練習は辛かったけど、合宿自体は楽しかったです。

「合宿の感想」

4年生 大森 公乃祐

合宿の練習は日大のグラウンドでやる時よりもすごくきびしかったです。ヘッドダッシュはすごくつかれました。アタックディフェンスはアタックの時のラインがうまく引けませんでした。だけど、だんだんラインを引けるようになりました。

二日目のし合は、とち木と京都とこうとうとやりました。とち木と京都には勝てました。けど、こうとうには1本差で負けてしまったけど、いいし合ができました。

チームキャプテンを決めました。キャプテンは、ぼくと真で1し合半ずつで変わりました。し合が終わって、グラウンドに行ってランパスを4年生だけでやりました。つらかったです。

三日目は3年生とし合をしました。あまりいいプレーができなくて、勝てたけどあまりよくありませんでした。コーチたちのし合もとてもよかったです。最後はランパスです。すごくつらかったけど楽しかったです。すが平しょうは大吉でした。合宿は楽しかったです。

「ラグビーの合宿で」

4年生 川原 奨平

7月16日の夜から19日まで、3ぱく4日ですが平へ行った。

がんばろうと思っていたことスィープと味方へのフォロー、タックル。練習は3年生の時よりきびしかった。でも、今年もしっかり練習できた。

試合では全力でとりくめた。タックルはあまりうまくいかなかったけどスィープとフォローはしっかりでき

た。試合にも勝ててよかった。

練習以外には、夜の花火大会すごくきれいだった。それから、まさかもらえるとは思っていなかったコーチ賞うれしかった。これからも練習をしっかりとやろうと思った。

「合宿の感想」

4年生 齋藤 裕太

僕の合宿の目標は「飛びこむトライ」でした。

2日目の試合では赤・紺ともに勝ちました。僕は最後の試合で、「飛びこむトライ」ではなかったけど、トライできました。とてもうれしかったです。

最後の日に3年生と試合をして、1本トライをとられてしまい、とてもくやしかったです。

今年の合宿はすごい雨がふったり、もぐらの死体を発見したり、びっくりすることもあったけど、花火大会とバーベキューはとても楽しかったです。

弟の裕人が「菅平賞」をもらえてとてもうれしかったです。

来年は僕ももらえるようにがんばりたいと思います。

「菅平合宿」

4年生 佐藤 公亮

合宿では、いろいろなことができるようになったけど、タックルで『うでを切る』ことを、もうちょっとがんばった方がいいな、と思いました。でも、ラインアウトのパスができるようになったので、うれしいです。

山光館のふろは、きもち良かったです。花火大会での花火は、きれいだったです。

「夏合宿の次の目標」

4年生 菅原 健人

合宿第一日目の練習では、ランパスとアタックディフェンスや、他にもいろいろやりました。大変だった練習や、つかれたのは、ランパスとアタックディフェンスです。ランパスは、ハンズアップをしっかりとしなきゃいけないし、強いパス、そしてパスをもらうときのスピードを出さないといけないので大変です。アタックディフェンスも声を出すことが大事です。

日曜日は、試合があって、紺チームの僕は、3試合しました。3試合目はトライができてうれしかったです。最終日は、目いっぱいがんばれたのでよかったです。

合宿でやって来た事を秋の県大会にいかしたいです。

「夏合宿の感想」

4年生 寺田 大起

目標で達成できたことは、ボールを持って、力強く相手につっこむことです。正確なパスを出すこともできました。

達成できなかったことは、タックルで相手を倒すことです。

サニアパークの試合で2勝1敗でした。上田RSとの試合では、55対10で圧勝しました。ぼくもトライを決めたと思った瞬間があったのですが、失敗でした。トライの線をこしてしまいトライになりませんでした。それが一番くやしかったことです。

来年こそ、トライを決めたいです。

「夏合宿」

4年生 中司 大也

4年の夏合宿の目標は相手をたおす低いタックルをする！！！！でした。タックルの練習の時、たけいコーチから相手のトレパンをねらうんじゃないかと、ひざをめがけてタックルしろ、と言われました。その通りやってみたら タックルした相手がふっ飛びました。これからも、このタックルを忘れず、県大会で生かしていきたいです。

サニアパークの試合で長野県の上田が対戦相手でした。結果、後半逆転され1点差で負けてしまいました。その時はとてもやさしかったです。でもその内の1回のトライはみんなですべてパスをつないでトライしたのでとてもうれしかったです。

県大会はぜったい全勝します。

「きつかった合宿」

4年生 西野 響太

ぼくは、初めての合宿でした。

全校でやったランパスがきつかったです。コーチからは8回やりなさいと言われました。8回終わったら、もう一回と言われ、またやりました。そしたら、またアゲインと言われ、またやりました。それでたくさんランパスをやりました。

六年生は、ぼくたちよりランパスの練習をたくさんやっていたので、すごいなと思いました。

ぼくは六年生になったらランパスの練習をたくさんやってラグビーがうまくなりたいです。

「夏合宿を終えて」

4年生 野川 真

ラグビー合宿は今年で二度目でした。今年の目標は「つなぐラグビー」なので、ラグビー合宿の前にパスアップの練習をして合宿にのぞみました。

合宿本番ではたけいコーチに教わった四つのポイントを意識してやりました。①当たったら足をかく②(仲間が来てなくて、もうかけない場合)振り向いて腰、尻を出して、仲間の方にボールを出す③(仲間が来ている場合)当たってもうかけなくなったら、寝て仲間の方にボールを出す④相手と仲間がからんでいたら、相手のうでを切る、仲間の尻の下を押す等の工夫がありました。その場の状況を見分け、使い分けが出来る様に、これからも努力していきたいです。

「ラグビーの合宿」

4年生 萩原 睦

ぼくは、ラグビーの合宿で目標をたっせいすることができました。ぼくの目標は「せいかくなパスをする」です。チームで練習して、ランパスでたっせいすることができました。県大会にむけてこれからもパスをがんばっていきたいです。

それと合宿ではみんな練習に集中できていたので、ぼくもがんばりました。

楽しかったです。

「成長した夏合宿」

4年生 濱田 透唯

ぼくは、今年の合宿で目標にしていた タックルが思うようにできたので よかったです。試合ではトライを決めることができ、赤チーム賞までもらうことができてたっせい感がありました。

来年は 菅平賞を目指して がんばりたいと思います。

「合宿をふりかえって」

4年生 松田 優一

がっしゆくではいろいろなことをおそわって、それをしあいにならせてよかったです。

3年とのしあいではあまりできなかったことも、練習してできるようになってけんたいかいでかちたいです。

「夏合宿の試合」

4年生 真山 巧也

夏合宿の試合で、相手がボールを持ってトライを取りに来たとき、ぼくはタックルをして相手をたおしました。

た。大吉くらいの大きい相手をたおしたのがうれしかったです。

「合宿でできた事、できなかった事、うれしかった事」

4年生 宮澤 朋輝

できた事

夏合宿の目標の「たおすタックル」と声を出すことはできました。

できなかった事

三年と試合をした時はほろう(フォロー)する人がいなかった事。

うれしかった事

試合でぼくが出た試合は全て勝った事とランパスでつながった事。

「夏合宿で がんばったこと」

4年生 安井 健太

僕は夏合宿で3つのことができました。①タックルが低くできたこと②オーバーが少しだけできたこと③前に進めたことです。

3年生との試合では、少し油断をしてしまい、個人プレーが多かったです。今はパスをつなぐプレーをしています。夏合宿の目標の「休まないこと」は達成できました。ジャンボリーの試合では、3つ試合をしました。そこでは、つなぐプレーができました。試合は、3試合のうち、2試合勝って1試合だけ負けてしまいました。負けた時は悔しかったです。

秋の県大会では 全勝優勝を目指します。

「合宿の感想」

4年生 横島 拓朗

今年の合宿の目標は、ステップをがんばって、スイープもがんばりたいです。声も出したいです。

合宿では、さぼったり声が出てないときが何度もあったので、なおしたいです。合宿は初日はきついと思った。朝練はしばがぬれて、少しぬれたけど、午後練はかわいていてやりやすかった。二日目の試合は、気持ちでタックルしたり、フォローしたりできた。三日目は、菅平しょうやコーチしょうはもらえなかったけど、がんばってやりきれた。

「菅平サイコー！」

4年 伊藤 大吉 母 由美子

今年度のはじめに小作コーチから「コーチ達も頑張って皆にラグビーを教えるから皆もがんばって、強くなるよ。」と温かい言葉が心に残り、「私も母として、何か協力しなければ♡」と、積極的にグラウンドに応援に行く様になりました。

そして、今年のはじめて菅平へ応援に向かいました。

菅平は猛暑と突然のスコールといったお天気でしたが、どこか爽やかで、いつにも増して、四年生コーチの熱心なご指導、選手達の成長した姿に「来年も絶対に来た〜い♡」と感動しました。

最後には、父と息子が同じグラウンドで嬉し涙という我が家にとって宝物の思い出となる経験をさせて頂きました。

コーチの皆様、お手伝いのお母様方、本当にありがとう御座いました。

「県大会優勝にむけて、麻生がんばるぞ〜！ Oh〜！！」

4年 井上 謙亮 父 井上正敏

合宿に参加されたコーチやご父母の方から、「謙亮頑張っていたよ。」とお伺いしました。本人も今年の合宿は、最後まで頑張れたと言っており、今年も謙亮なりに頑張ってきたんだなとうれしく思いました。又、合宿の目標としていた、オーバーもコーチから褒められたとうれしそうでした。この合宿の経験が自信につながっていけばと願っております。最後になりますが、合宿を最後までやり遂げられたのも、コーチや参加されたご父母の方々のおかげで頂いたからだと思えます。本当に有難うございました。

「合宿に参加して」

4年 川原 奨平 父 川原 篤

17日夜のミーティングから合宿中の4年生に合流、4年生と2日間を共にすることになり昨年と比較し、どのように成長しているか楽しみに関わらせてもらいました。ラグビーに取り組む姿勢やコーチの話を聞く態度などにも落ち着きが増し、また自分の考えや感じたことを他に伝えることなど身体の成長だけではなく精神的にも大きな発達を感じました。

交流試合ではラグビーの特性(ボールの争奪、プレーの継続、ボールの再獲得)に触れ充実した3日間を過ごすことができたことと思います。

コーチとして、楽しい時間を4年生と共有できたこと。

保護者として、サニアパークの環境整備に当たっていただいた日本協会の方々、この合宿を支えていただいた多くの関係者の皆様に感謝の気持ちで一杯です。

ありがとうございました。

「ありがとうございました」

4年 齋藤裕太 母

まずは、コーチの皆様、合宿担当5年生のママ、応援部隊のママ、本当にありがとうございました。

今年の合宿は、裕太の持病悪化でぎりぎりまで参加できるかわからずの状況でした。

合宿出発日、学校から帰宅した裕太は「大丈夫！行けるよ！」と自分で判断。心配をしながらも送り出し、日曜日に菅平に私も日帰りでかけつけました。

裕太の元気そうな笑顔、思っていた以上に調子の良さそうな全身の状態。安心しながら子供達の練習を見学。そして、シャボンリーでの最終試合、本当に素晴らしい試合内容でした！涙がこぼれました！

コーチの皆様、4年生のママたちにたくさん助けていただいたことと思います。

本当にありがとうございました。

来年は必ず、私も全日参加し、この目で最終日のランパスを見届けます！

これからもよろしくおねがいいたします。

「菅平合宿」

4年 佐藤公亮 母 栄子

今年初めて日帰りで参加させて頂きました。合宿は私の想像とは違い、暑さや慣れない集団での生活など厳しいものだということに驚かされました。

そんな合宿も、『みんなもキツイ、自分だけではない』『コーチ達もがんばってくれている』と子供達なりに感じてくれているのを、他チームとの試合で見ることができました。

黒川では、疲れはあるものの満足きった子供達を見て、とてもうれしく思いました。

コーチの皆様とお世話を下さった方達に、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

「菅平合宿」

4年 中司大也・母

今年も声をからし、身体を張って子供達に全力で向かいご指導下さったコーチの皆様、本当にありがとうございました。ただただ「感謝」の一言につきます。

痛く、辛く、休みたくなるところを仲間同士、声をかけ合い頑張りぬく4年の底力を見せてもらいました！

早くも来年の合宿が楽しみなのですが…、その前に大きな大きな大会があります

！！！！

合宿で学んだ、気持ちで相手に負けない強い心(タックル)、仲間を呼ぶ大きな声、そしてみんなでボールをつなぐ事が出来れば絶対結果はついてくると思っています。また県大会も応援させて下さい。

5年生の合宿担当のお母様方、お世話になりました。ありがとうございました！

「二度目の合宿」

4年 野川 真 母

四年生にとって二度目の合宿。昨年はずいぶん走り込まされ、涙して走る姿も少なくありませんでした。今年は晴天に恵まれ、子供達にとっては暑さとの闘いもあり、厳しいものだったと思います。暑さで体力を奪われ、声が出なくなる時間帯もありました。それでも、熱心なコーチ達の叱咤激励のもと、各自が自分の掲げた目標を胸に精一杯頑張っている姿はとても印象的でした。交流試合では悔しい思いもしましたが、県大会に向けて、更にステップアップするきっかけになればいいなあと思っています。コーチの皆さま、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。

「まぶしかった菅平」

4年 濱田 透唯 母

昨年のがことがよみがえり「大丈夫かな…」と息子と二人 ドキドキで始まった夏合宿！一年の成長は大きかったのか… 試合では、午前中はトライを決めて 午後は頭痛を我慢して 涙を流しながら試合に出ている息子は初めて、菅平に行った 私にはまぶしかったです。来年は5年生の母として合宿担当 息子に負けにくいらい がんばろうと思いました。コーチや合宿担当のお母様方ありがとうございました。

「今年の夏合宿」

4年 真山巧也 母

合宿の帰りを迎えに行き子供達の顔を見たとき、オーラが違った。真っ黒に日焼けして、すがすがしい顔をして、菅平ですごくがんばったんだなと感じました。試合中には体の大きな相手をタックルして倒したと何度も話してくれ、子供にはとても自信がついたようです。コーチの方々、合宿を見守ってくださった親御様方には大変お世話になりました。

「夏合宿」

4年 宮澤 朋輝の父 宮澤 秀毅

昨年に引き続き2回目の夏合宿参加でした。

昨年は高速 1000 円の影響で、菅平まで 8 時間かかったのが、今年は早めに出発したところ、9 時には菅平に到着することができました。

子供達は 2 年目で慣れもあるのか、コーチ陣にゲキを飛ばされるも、モチベーションが低く、昨年の合宿とは違った雰囲気でした。

前日の豪雨でグラウンドのコンディションも悪かったようで、スロースタート気味もあったと思いますが、これからの課題かもしれません。

2 日目、やはり前日夕方からの豪雨はグラウンド使用を控えざるを得ない状況で、朝練は中止、ジャンボリーに向けてのモチベーションも上がりませんでした。

しかし、さすがに 4 年生ともなると試合が始まる時間が近づくと、徐々に試合モードになってくるものですね。だんだん顔つきも変わってきました。

試合は 5 試合戦って、3 勝 2 敗、2 敗も決して負けるような試合ではなかったと思います。

結果的には秋の県大会に向けて、充実した合宿であったと思います。

3年生



大きな声を出してがんばった3年生

3年チーフコーチ 曾我 浩

3年生は初めての合宿の幕開けは、大きな声を出すことでした。

毎日、グラウンドで合宿の目標を、遠くに立っている佐藤コーチのマルのサインが出るまで、何度もやり直していました。

合宿前のコーチの間では、大きな声が出せないで、泣いてしまう子もいるのではないかと話していましたが、2回、3回とダメ出しをもらっても全員最後までがんばって大きな声を出していましたね。

初めての合宿で、なかにはお父さんやお母さんと初めてはなれて泊まるなど、ほんとはサビシイ思いをした子もいたかもしれないけど、参加した11人全員で励ましあっていました。

この合宿の一番大きな目標は、ファイトする強い気持ちを持つことでした。この合宿だけでは、達成できなかったけど、練習や試合それぞれのシーンで気持ちが出ているプレーがありました。あとは、それを試合のはじめから終わりまでずっと持ち続けていられるかどうかです。

もうひとつの目標として、「成功体験をすること」がありました。トライをとることだけが成功ではなく、今まで自分ができなかったこと・パスがうまく通せた、タックルが決まった、大きな声が出せたなど、一人ひとりが、ラグビーをしていることが楽しく思えるような、成功体験をしているのを、曾我コーチはずっと見ていました。

これからは県大会に向けて、合宿でできたことの自信を忘れずに、ファイトする気持ちを持って、失敗を



合宿最後まで頑張った面々です。

(丹野翔君は、学校行事の都合で2日後に帰宅)

恐れずに思いっきりプレーすることを目標に頑張っていきましょう。

3年生 合宿

3年サブコーチ 外岡 幸隆

はじめて合宿は、①「声を出す」こと。②接点でしっかりファイトすることの2つを大きな目標として掲げました。①声を出すことは、練習や試合を通して、全員に意識付け、声が出ない場面はなんどもやり直しをさせたので、以前に比べれば、声が出るようになりました。②接点でファイトすることは、ゲームで想定される場面を想定して、何種類かのミニコンテストを行いました。勝った子には、胸にはったガムテープにポイントを書き、勝負に対する執着心を植えつけることを狙いました。練習は結構白熱して、激しいファイトが見られました。ただ試合になると、まだまだ……です。



試合結果:

菅平ミニラグビー:ジャンボリー

川口 RS(3年生):6-4 で勝利 強豪?川口と互角に戦えたことは自信に! /江戸川 RS(4年5人+3年2人):2-11で完敗 /中条RS(4年主体?:6人しかいなかったの6人制):5-5で引き分け



川口RS戦

4年生との対抗戦 1-8で完敗も、1トライ返せた!

4試合を通して、接点でのファイトは不十分ながら、ある程度はできるようになり、タックルも一部の子は、下に入れるようになりました。

トライパターンとして、「抜けるセンターグラッシュ」が決まるようになってきたのも収穫です。

また猛突進を繰り返した「ゆうと」の豹変は全く(うれしい)想定外でした。菅平賞おめでとう!

現3年生の最大の課題は、「ファイトするハート」です! 残された時間で「ハート」を強くして、はじめての県大会公式戦に臨みたいです。

菅平合宿(2010/7/16~19)を振り返って

3年コーチ 室井 秀夫

17日、合宿初日。朝からの練習参加を目指し、出発すること3時半。6時過ぎに宿である山光館に着くや、フロント正面付近や建物裏手駐車場付近には、練習が待ちきれんのか、皆で泊まって興奮しているのか、早くも数人の子供達の姿が現れた。柿色のTシャツ・

赤紺ジャージ、麻生の子供達だ。いよいよ合宿のスタートです。私自身、今回で4度目の参加となります。我が家(家族)にとっても、この夏、菅平で過ごす最後の夏なのかなあ・・・少し寂しく思いました。息子が6年生と言う事で小学生の部最後の合宿、はたまた、コーチを担当している3年生の子供達にとっては、初めての合宿。我が子の姿を遠目に見ながら、今ここにいる3年生の子供達の姿を重ね合わせ見る楽しさも一潮です。時折、雨にも見舞われたかと思えば、照り付ける太陽の日差しに体力を奪われながらも、小まめに水分補給するなどして、例年のように体調を崩しテントの中で控えている子供達の姿も見受けられず、有意義な合宿であったように思います。ここ数年、必ず筋肉痛に悩まされましたが、ストレッチ(柔軟体操)の効果が現れているようで、体調も良かったです。

今回の合宿を振り返るに、3つの“顔”が浮かび上がります。ひとつは、今年初参加で頑張った3年生の子供達の顔です。合宿初日から大きな声で、目標や名前を言う事でさえも、恥ずかしさ・戸惑い・気合の無さ・親と一緒にではない心細さ等、複雑な心境、心の内を物語るかのような表情を露にしていた子供達も、合宿最終日には、皆が充実感(達成感)、自信に満ち溢れた表情へと変化しました。二つ目は、小学校の部最後の合宿に望んだ6年生の子供達の顔です。合宿2日目、3年生の練習後から6年生の練習に加わりましたが、いつもの調子の子供達に号を逃がし、清水コーチからの一喝、三浦校長始め6年コーチ陣から激を跳ばされ、ようやくエンジンも掛かり出した。試合形式で、コンタクトプレーやサインプレーの確認をす

る練習では、(FD)息子の対面に入り、モールを組んだ時の子供達の表情を目の当たりにして居ると、それまで正気を失っていた(FD)虹翔・弦・鷹平の目にも活気が漲ってきたことは、お互いの対面に入って練習に加わった曾我コーチ、小山田コーチからも感じたように思います。子供とは言え、その当たりに堪えるべく私も少し姿勢を低くして待ち構えるや”ペナルティー 虹翔、ボールを持って突っ込み弦・鷹平がバインドしてオーバー(アシスト)するシーン“タックル～オーバー～モール～ラックの形成過程の中で、私の耳が後ろに捲れてしまったようだった。ふっと、モールの中、私の頬から口元を伝った瑞々し感、鼻血だ。テントに歩み寄り、やかんの水を頭から流すも流血していた。右耳の裏が切れていた。近くの病院で止血して貰い“ダンボの耳”で宿に帰ると、バーベキューで皆盛り上がっていた。子供達に振舞われたアイスを食べながら、その耳どうしたの？ 悪びれた様子も無く、一口勧める息子。グラウンドで見せた表情とは懸け離れた、実に子供らしい無邪気な表情でした。三つ目は、私自身の顔です。何はどうあれ、これで翌日に予定されたコーチの試合は、故障者リスト入りしてしまったので残念だなあ・・・(喜ぶも束の間)、人不足の為、欠場が認められないばかりか、タオルを包帯に見立てて耳を覆い隠すように頭部に巻いて、ヘッドキャップをして試合をこなしました。ほっとするも、その後もう一試合。校長からの声が掛かりました。麻生初の試みです。この合宿に、他の学年担当のコーチで参加しているものの、その子供が6年生に在籍している。そんな親子の為に。“6年生チーム対その親コーチ”所謂、ガチンコ親子対決でした。如何にか2試合消化することが出来ました。

合宿に参加された皆様に、怪我に伴いご心配戴きました事や、初の試みを催して下されたスクール首脳陣のご厚情は、私がここ菅平の地に訪れる度、忘れられない思い出となりました。

夏合宿に参加して

3年コーチ 小山田 俊広

合宿に向かうバスの中、元気いっぱいの子供たち。あまりの騒々しさに合宿中が思いやられる。ただし3年生は比較的おとなしかった。

17日は曇り空。朝班別に集合しグラウンドへ。全体アップ後、3年生の合宿目標である「大きな声が出す」ができるように、反対側の佐藤コーチに聞こえる声で、全員が名前と各自の合宿目標をいってから練習開始。普段なかなか大きな声が出せない子も、精一杯の大声で何度もやり直してOKをもらった。

朝から夕方までのラグビー、対外試合や学年対抗試合。そしてランパス、菅平賞発表。

いろんな思い出とこれからの可能性を感じさせてくれた3日間だった。

「がんばった！」

3年臨時コーチ兼古田空 父 古田 十

外岡サブチーフコーチの深い悩みのなか夏合宿へ。3年生の目標は明確に2つ。「声を出す」「ファイトする」。3年の子供たちは、気持ち表に出ない、(イメージとして)麻生の典型的な子供たちの集団だと思います。

でも、夏合宿は少しずつでも子供たちを変えていきます。何がそうさせるのか私には未だにわかりませんが変わるのです。

ミニジャンボリーでの試合はどれもよくがんばったナイスゲームでした。

みんな声を出してファイトできていたと思います。

ゆうとの菅平賞は皆、納得ではないでしょうか。他の子たちも来年以降もらえるようにがんばろう！

菅平に夏は来ぬ

3年臨時コーチ 牧野 義之

天候が非常に心配された今回の夏合宿でしたが、幸いなことに梅雨明けとなり、本格的な夏の気候の中ですばらしい合宿が出来たと思います。

3年生にとっては、初めての菅平合宿であり、やること全てがはじめての経験だったと思います。

グラウンドでの練習はもちろんのこと、宿舎での集団生活や学年を超えての班単位での集団行動は、チームワークを形成する非常に良い機会となったことでしょう。また、合宿前に掲げられた大目標である「大

きな声を出す」ことは、何回も佐藤コーチからの駄目だしに耐えて、みんなよく頑張ったと思います。

今回の合宿で学んだことを基礎として、県大会に向けてすばらしい 3 年生チームとなることを期待しています。ファイト！！3 年生

夏合宿の感想文

3年臨時コーチ兼熊谷優 父 熊谷 知

今夏の異常灼熱下、クーラー無しでの生活なんて考えられず、全国で相次いで発覚している所在不明の幽霊高齢者同様、自身も炎天下の路上で錯乱必至、所在不明になりそうな今日この頃です。∴菅平でのクーラー無しでの合宿を思い出してみました。

毎朝 Oが出るまで、大声で各自の目標を何回も叫び、満弘コーチに向かって走って行った子供達、普段とは明らかに違うテンションで、コーチに叱られる練習、普段は食べないきゅうりやマトの丸かじりを強要されつつも、仲間とはしゃぎながら楽しそうに食べていた朝ごはん。

5年生のお母さんが、途切れることなく酌み足してくれた冷たいポカリ飲み放題。

寂しくてたまらなかった夜、思うようなプレーが出来ずに泣きたくなった反復練習。

暑くても、痛くても、辛くても、苦しくても、びしょ濡れになっても乗り切った合宿。

この3日間は、ゲーム機の代わりにボールを持ち、毎日食べていたお菓子がきゅうりに代わり、大部屋での雑魚寝生活、楽しかったですか？

ふと目を閉じると……今でも思い出されます。。

合宿最終日の練習終了後、『O年 OOOO。ありがとうございましたあー!!』グラウンドに向かって大きな声で挨拶をする上級生の声を聞きながら、左にはレタス畑、右には小学校、山光館へ戻るいつもの帰り道、3年生の子供達とコーチは、ゆるい上り坂の砂利道をぶらぶらと歩いてました。

A君、『おまえタックルちゃんと出来てないぞ～なんで出来ないんだよ～』と、B君をなじりました。(A君に限らず、ここ最近、良く見る光景でした)すると、すかさずコーチ、『どうして、そんな言い方をするんだ。同じ仲間になんかそういう言い方はよくないぞ。自分がそういう風に言われたら嫌な気持ちになるだろう…わかるかい？ 友達になんかそういう言い方はするなよ。みんな仲間だろ。』

するとA君、『……。べつにいいもん、どうせ友達なんかいないもん……。』と小声で呟きました。

それを聞いたC君は笑顔で、『はあ～??何言ってんだあ?友達いるじゃんかあ。俺もそうだし、OOだっているし、△△だって◇◇だって友達じゃんか、変なこと言うなあ……。』と真剣に首を傾げてました。

コーチはもう、何も言いませんでした。何も言う必要もなかったみたいです。合宿では、タックルやハンドリング、ポジショニングについても上達したけど、仲間を思う気持ちも成長したようです。最後の最後に一番嬉しかった出来事です。ルフィとその仲間達にちょっとダブりました。(恐るべし ONE PEACE 現象)これからも、揺ぎない情熱で仲間との友情を育み、夢の実現のために、冒険と戦いを繰り広げることを、コーチは応援します。なお、C君の帽子は麦わらではなく、さっき三浦校長からもらったばっかりのカンタベリーの白い帽子でした。

合宿の感想

3年 海老原 とあ

つらかったけど楽しかったです。4年生になってもがんばります。こーちをたおしたいです。あとパスうまくなりたいたいです。



「合宿の振り返り」

3年 古田 空

今年の合宿はとても楽しかったです。合宿の目標は走ることでしたが、その目標をできました。

四年生との試合で負けてしまったけれど、一本トライをとれてよかったです。



これからもっと練習をして強くなりたいです。

合しゆくのかんそう

合しゆくのかんそうは、すがだいらのてんねんしばで2年生のコーチともれん習をして楽しかったということです。

一番心にのこったのは、川口RSとし合をしたときに、トライをとったことです。

ぼくは、タックルせいこうさせるようにこれからもがんばります。

初めての合宿

いっぱい練習して強いタックルができるようになりました。でも、スピードが足りなくてトライができませんでした。

楽しかった事はバーベキューです。なぜかという肉がおいしかったからです。

秋の県大会で全部勝てるようにがんばりたいです。

はじめて合宿にさんかして

もくひょうは「大きな声を出す」

グラウンドのはしからはしまでとどく声だしは楽しかった。思った以上に声はでたがコーチのジャッジは「×」だった。心の中で「チキショー」とさげんだ。でも、さいごの日はイッパツで「○」をもらった。

練習ではコンテストでまったく勝てずくやしかった。でも試合はオーバーができていたとおもう。秋の県大会は優勝するぞ。

「はじめての合宿」

はじめての合宿に行きました。れんしゅうはたいへんだったけど楽しかったです。れんしゅうの後のおふろは気持ちよかったです。はんちょうにはおせわになりました。楽しかったです。さいごに菅平賞をもらえてうれしかったです。菅平賞をもらうときはどきどきしました。

バスで帰るとき、おかしをもらえてうれしかったです。

県大会優勝したいです。れんしゅうががんばります。

初めての合宿と秋の県大会に向けて

初めての合宿は楽しかったです。とくに花火とバーベキューが楽しかったです。れん習で楽しかったのはこの字ダッシュとこう白せんです。

1日目の夜はそんなにねむれませんでした。でも2日目と3日目はたくさんねむれました。自分の目標はこえを出すことで、まもれました。

上手になったことはウイングへのパスとキックです。

秋の県大会に向けての目標はタックルをしただけでいいかなということなんです。

合宿の感想

菅平は涼しくて、練習をするのに最適だなと思いました。練習の途中で雨が降ったけれど、暑かったでかえって気持ち良かったです。

菅原コーチにスクリューパスを教えてもらい、覚えることが出来たのが成果です。

3年 向野 椋耶



3年 小島 稜



3年 小野 航大



3年 齋藤 裕人



3年 森田 恵一朗



3年 丹野 翔



途中で帰らなくちゃいけないのがくやしかったです。試合も全部したかったです。

はじめての合宿

3年 熊谷 優

さいごのランパスがれんしゅうの中で、いちばんつらかったです。
しあいでもととだったから、ランパスでは、とてもつかれました。
しあいは、たのしかったです。けんたいかいでは、点をいっぱいとりたいです。
花火のれんぱつが、おもしろかったです。



はじめての合宿

3年 齊藤 岳

合宿で頑張ったことはタックルです。合宿はしんどかったけど楽しかった。
最後のランパスはきつかった。
練習したタックルを試合でできるように頑張ります。
トライも出来るようになりたいです。



夏合宿の感想

3年 津国 大喬

楽しみにしていた合宿でしたが、いつもより練習が長くてついていけなくなりそうでした。
合宿の目玉であった「たくさんトライを取る」が、たっせいできなかったのが残ねんです。
秋のし合ではトライをとります。
来年は4年生になり練習がきつくなるけれど、がんばります。



初めての合宿

3年 小島稜の母 小島 直美

菅平のグラウンドで見る稜は、真剣で集中していて、普段の練習の時と顔つきが違っていました。自分がプレーしていない時でも、真っ直ぐに仲間のプレーを見たり、上級生の試合を見ていました。トライを決められなかったのは残念がっていましたが、稜のタックルが仲間のトライにつながったようで、自信をもつていいと思います。

強くなりたいという気持ちからか、いつも以上にごはんのおかわりをしています。

これからどんな進化をとげるのか楽しみにしたいと思います。

合宿中、最初から最後までご指導いただきましたコーチの皆様、本当に有り難うございました。

「菅平賞と大冒険」

3年 齋藤裕人の母

4年生の兄に「練習はきついけど、楽しいぞ！」と聞かされていた裕人は本当に合宿を楽しみにしていました。私は菅平という場所に行ってみたく、人生初の大冒険！自動車で行く8時間の道のりを一人で、日帰りで決行…。菅平に到着して、裕人に会いに行ったら「なんているの？」と本気で言われてしまい…。めげずに子供達の後を追いかけて、練習を見て、試合を見て、帰宅。

次の日、携帯メールに「裕人 菅平賞」と連絡を受け、前日の子供達の頑張っている姿が思い出され、1人涙を流していました。

コーチの皆様、合宿担当の5年生ママ、各学年の応援部隊のママ、本当にありがとうございました。感謝の気持ちで一杯です！

次は県大会、裕人の目標「県大会優勝」を実現してくれると信じて、菅平マジックがとけないように、お尻をペンペンし続けていきます！

麻生ラグビースクールの皆様、これからもよろしくおねがいいたします！

3年生の合宿

3年 丹野 翔 父 丹野 敦

2日目の昼過ぎに現地に着きましたが、子供たちがグラウンドに入る前にいつもにも増して大きな声を出して挨拶していたのがまず印象的でした。

高原といえども夏の暑さはありますが、さすがに稲城の強烈な暑さとは大違いで快適です。普段の練習に比べて時間にゆとりがあり、菅原コーチにパス練習をじっくりとしていただけました。苦手なボールワークが少し向上できたのではないかと思います。

山の天気でときどき雨に見舞われましたがものともせず練習するのも合宿ならではの感じですね。

日程が小学校の夏季教室と重複してしまったため、たった2日目の夜には帰らなければならなかったのがとても惜しく、本人も非常に残念がっていました。

コーチの方々の指導のおかげで一段と逞しく成長できたようです。

菅平はスキー場だと思っていましたが、今更ながら大きな勘違いで、ラグビーの聖地だったと改めて認識しました。

<菅平合宿のイベント紹介>

3年生は初めての合宿でした。子供たちの感想文を見ると「楽しかった！」の言葉が印象的です。その通りで、心配のコーチ陣のよそに一人も体調(ホームシック等)を崩さず元気でグラウンド、宿の廊下を走り回っていました。さて、現地に応援いただいたご家族の皆さんはご存知ですが、残念ながら来られなかった方のために、主なイベントを紹介します。是非、来年こそは子供たちと共に体感下さい。

1. 菅平式朝食



麻生RSでは、グラウンドで朝食を取ります。(他スクールにはない。)

パン、牛乳、パン、トマト、きゅうり、バナナです。

さすがに5~6年生になるとカロリーが心配では？との声もありますが、折角の芝のグラウンド(今では毎週の練習を芝で行っていますが)、涼しい環境を一瞬たりとも無駄にしたいくない！想いから、食べても直ぐ運動する事が出来る食材を揃えた、麻生式の朝食メニューです。

子供たちは、朝6時に起床し7時から練習開始。約1時間ほど練習しグラウンドで食し、直ぐに練習再開です。

2. 朝の散歩 (これは麻生RS始まって以来のできごと)



2日目の夕方から降った大雨(まさにゲリラ豪雨)によって、グラウンドに設営していたテントが破壊するほどの雨量により、さすがに翌朝グラウンドコンディションが悪いとの判断で、急遽朝練習を散歩になりました。この場所は、菅平唯一の繁華街通り。みんな気持ち良い朝日を受けのんびり散歩。(私は昨日の日焼けに朝日が痛かったが...) 約1時間後に戻り、今日は宿の裏庭で麻生式朝食を取った。

3. バーベキュー／花火大会

3日目の夕食は、宿の裏庭に設営されたテントでバーベキューです。

学年単位で大きな鉄板を囲み、コーチおよび父母さんの調理の下、子供たちは硬い肉を「美味しい！美味しい！」と言って食べてくれます。

バーベキューの後は、花火大会です。資格を持ったコーチたちにより、プロが扱う花火を事前に練習グ

ランドに設営・準備し、子供たちは星明り(残念ながら、夜間の晴れはめったに無いが)を頼りに会場に集まり、花火大会で歓声を上げます。昔は規模が大きく、高原全体から観賞できちょっとした菅平名物になっていましたが、昨今は予算の都合もあり縮小ぎみ。それでも充分楽しめるイベントです。

4. 地獄の「ランパス」



このひとコマは、6年生の地獄のランパスを見て(応援)いるところです。複雑な表情が見て取れます。

合宿練習の締めとして、全学年でランパスを行います。特に6年生は、グラウンドをへトへトになるまで往復をくり返すことから「地獄のランパス」と言われています。

さて、彼らも3年後に地獄を見ることになるか...

(梅原)

1・2年生



(上段) 太田コーチ、萩原さん、児玉コーチ、京屋コーチ、原田コーチ、竹川コーチ、東野さん

(中段) 野村コーチ、萩原起、京屋光琉、河瀬孔太郎、竹川正剛

(下段) 児玉将梧、野村雄亮、太田佳吾、東野振一郎、原田健匠

合宿参加の所感

二年生チーフコーチ 野村文雄

息子にとっても私にとっても初めての菅平は、とても新鮮且つエキサイティングな場所でした。まだまだ伸び代がありますが、コミュニケーションの充実度が増した子供たちを見て、精神面でも身体面でも成長しているのがよく分かりました。二年生の試合は二試合とも大差で勝利し、子供たちも素晴らしい思い出が出来たと思っております。

何よりも、合宿期間中、仲間たちと生活を共にしたことが、これからのチームワークの強化につながると考えております。

合宿実施にあたり、三浦校長・重住副校長・牧野幹事長をはじめとした幹部皆様、お世話役として大活躍して頂いた5年生お母様皆様、合同練習試合で御世話になった三年生コーチ皆様、常に大きな声で情熱的に低学年指導に取り組んで頂いた竹川コーチ他皆様、改めて感謝申し上げます。

2010 夏合宿を終えて

2年コーチ 太田 昌彦

私自身、今年で3回目の夏合宿参加となりました。これまで低学年ながら参加させて頂き本当にありがとうございました。今回の低学年の合宿メニューは、早朝の散歩から始まり、サニアパークでの交流戦、3年生練習への参加、夜の座学(ビデオ上映による講義)等々、3日間これまで以上にラグビー漬となりましたが、子供たちは最後の最後まで、元気よく楽しんで(時には苦しかったとは思いますが。。。)参加してくれたのではないかと思います。特に、今回は初めてサニアパークでの交流戦にもエントリーすることができました。あの、すばらしい芝生の環境のせいか、いつも以上に伸び伸びとしたプレーが目立ち、全員が我々の心を奮い立たせるような期待以上のプレーを見せてくれました。2年生は、江東、長野に試合結果、試合内容とも圧勝は見事。1年生も大きな相手に何度も弾き飛ばされながらも最後まで食らいついていた姿に今回の合宿での大きな成長を感じました。

最後に、竹川コーチのコーチ試合への参加は、本人以外、直前まで誰も気が付きませんでした(本人が昨年のことも執拗に出ない、出ないと言っていたので。。。)。奥さんを欺くために我々まで完璧に利用されていたのです(笑)。試合後の竹川コーチの血だらけの笑顔を思い出す度に私は思います。この人は来年も必ずやると。私も是非、今年に引き続き来年も竹川コーチとともに試合に参加させて頂ければと思っています。来年もどうぞ宜しくお願いします。

低学年合宿

2年コーチ 児玉 修

息子に伴って任意に合宿に参加し、今年が低学年最後の合宿となりました。低学年とは言え、毎年それなりに充実しており、昨年は炎のタックル練習等、今年はサニアパークでの対外試合もこなし、参加した2年生は来年は自信をもって合宿に参加できると確信しております。まだ勝負を意識する学年ではありませんが、将来の成長が楽しみです。

コーチとしては、この合宿で子供たちが成長するのに反比例して自らの体力の低下を自覚させられました。来年以降も健全な体でこの素晴らしい合宿に参加できるようにケアしたいと思います。今年も有難うございました。

『2010菅平合宿』

幼稚園コーチ:原田 泰治

今年の菅平合宿は、息子(二年生)共々、土曜日深夜からの合流となり、実質、一泊二日での参加となりました。内容としましては、例年、低学年(二年生以下)は希望者のみの参加ということもあり、参加人数が少なく練習中心での参加でしたが、今年は9名の参加者がいた事からサニアパークでの交流試合も4試合組んで頂き、試合終了後は山光館グラウンドで練習という、低学年の子供達にとってはちょっときつい内容だったかと思います。試合後の練習では、普段の練習ではあまりやらないキックボールの捕球やランパスといったメニューを取り入れ、中々思い通りに行かず悔し泣きをする子もいましたが、涙を流しながらも、途中で投げ出さず最後までやり遂げた事はきっと彼らの自信に繋がる事と思います。その成果もあってか最終日の全員でのランパスには全員が参加し、前日とは比較できない程、スムーズなパス回しが出来ていた事に、子供達の吸収力の凄さを改めて認識させて頂きました。今回の合宿を通しては、『出来なかった事が出来るようになる楽しさ』を子供達自身が感じ取ってくれば個人的には十分な成果だったのではないかと思います。まだ気は早いですが、来年はたるみ切った体を少しでも引き締めてコーチ試合に耐えうる体力強化を進めて参加させて頂きますので、引き続き宜しくお願い致します。

なつがっしゆく

2年 太田 佳吾

うれしかったことは、3年生とのしあいをしたとき2トライをとったことです。つらかったことは、ランパスです。でも、パスがうまくなったからよかったです。

夏合宿

2年 児玉 将梧

ぼくにとって合宿は三回目だけど、まだまだランパスが足りないと思いました。久しぶりに一年生といっしょに練習して、一年生もがんばっているなと思いました。試合では、いいばめんと悪いばめんがありました。そこを直していきたいです。来年の夏合宿でもがんばりたいです。

初めての合しゆく

2年 野村雄亮

ぼくは、はじめて合しゆくに行きました。1日目はいっぱいれん習をして、「ハンミ」や「とびこみトライ」をおぼえました。2日目のしあいでは、2しあいとも5点さいじょうでかえました。れんしゅうも、しあいも楽しかったけど、いちばん楽しかったのは山のぼりです。しあいの後、太田コーチが「みんながんばったね。」といいました。そして「400メートルと山のぼりどっちがいい？」ときいて、みんな「山のぼり」といったので山のぼりになりました。山のぼりはちょっとくるしかった。ちょう上にいって、ダボスの石ぞうにみんなでさわった。下のほうにしあいをしたグラウンドがちいさくみえた。「やったあ」と思った。草がふかくないところからソリですべて下りた。すごいスピードだったから楽しかった。来年はたくさんなかまもいくのですごく楽しみです。ぜったい来年もいきたいです。

すがたいらがっしゆくにさんかして

二ねん:原田けんしょう

がっしゆくラグビーのれんしゅうで楽しかったのは、ランパス。さいしよは、はしりながらパスしたりボールをとったりすることがむずかしかったけど、すぐなれた。しあいは、4しあいぜんぶでたらきつかった。れんしゅうも夕方までやってきつかったけど、バーベキューがとてもおいしかった。たのしいがっしゆくでした。

ラグビーのがっしゆく

2ねん ひがしのしん一ろう

夏がっしゆくしあいのけっかは、2しょう2はいでした。さんねんでした。できたことは、オーバーです。もくひょうができてよかったです。れんしゅうでは、タックルダミーにあたるれんしゅうをしました。1かい3年生の人とれんしゅうしました。

3年生のはくりよくがすごくよかったです。それぐらいがんばりたいです。以上です。

夏合宿に参加して

1年生コーチ 竹川 健次

いつも大変お世話になります、1年生コーチ・竹川です。今年も菅平にやってきました。麻生 RS にお世話になり早4年、今年で4度目の菅平です。息子の正剛(1年生)も3回目の菅平合宿となり、最近ではすっかりラグーマンらしくなってきました。かな？今年も低学年9名(2年生:5名、1年生:4名)と一緒に夏合宿を満喫できたことを心から良かったと思いき感謝しております。今回は、初めて参加する子もおりました。彼らにしてみれば、菅平って？夏合宿って？てな感じだったのではないのでしょうか。しかし、じゅうたんのようなグラウンドとおいしい空気の中、いつもと顔色の違うコーチによって、子供達もいつもと違う雰囲気にも成長できたのではないでしょう

か。

今年も、事前に低学年の合宿参加コーチが集まって(飲み会)、しっかりとテーマを決め、合宿に望みました。そのテーマとは”ダウンボール”→”オーバー”→そして”拾ってトライ”です。この一連の”流れ”を模索してみました。そして、縦へのスピードある”ランパス”です。

低学年にできんの？って言われそうですが、なんのなんの、子供たちは我々の物差しでは計れないほどの成長を見事にしてくれました。われわれコーチは大人顔負けの練習を準備し、ガチ(本気)で練習してみたところ、(彼らの能力にもよりますが)、特に2年生たちは全く違和感無く練習をこなし、そして実践(試合)で証明してくれました。

実は、今年はジャンボリー大会にエントリーし、4試合も他県のチームと試合ができました。練習の成果を証明できることが子供たちのモチベーションを上げたかもしれません。

また、1年生チームも2年生中心の相手に試合に臨み、明らかな体格差があるにせよ、大きな相手に思い切ってぶつかって、弾き飛ばされ、試合に負けて、悔し涙を流し、、、。

その姿を見て涙腺が緩んだのは私だけではなかったと思います。弾き飛ばされた相手に最後には2人、3人とかぶせるようにタックルを試み、やっと相手の突進を止めた、あの瞬間は、私自身も心が震えました。それぞれに成長を遂げた1年生達は本当によく頑張ったと思います。

また来年も願うならば夏合宿に参加したいと思います。そして子供達にはジャンボリー大会にエントリーし、沢山の試合と経験をさせてあげたいと思います。(三浦校長、よろしくお願いします。)

最後に、一言！怪我だけはしてはいけません、ましてや額を2.5cm切るなど、、7針縫うなんて、とんでもない事です。

どの学年コーチかは知りませんが、怪我だけには注意しましょう。

全治1ヶ月の竹川より

夏合宿

1年コーチ 京屋

父と息子ともに初めての菅平で、良い経験ができました。

私は天然芝のグラウンドに感動、息子は天然芝でのソリ遊びを思う存分楽しみました。

今回の合宿で、息子が自分より一回りも二回りも大きな選手に立ち向かっていった姿を見て、不覚にも感動してしまいました。(弾き飛ばされていましたが・・・)

また機会があれば、参加させていただきたいと思います。

夏合宿の思い出

1年生 竹川正剛

父「夏合宿はどうだった？」

正剛「楽しかった。」

父「何が？」

正剛「3年生との試合が楽しかった。」

父「3年生との試合の何が楽しかったの？」

正剛「トライを取ったところ。でも～、スクラムが少し難しかった。」

父「おお————、ところで、来年も行く？」

正剛「わかんない」

父「何やそれ」

夏合宿

1年生 京屋光琉

試合が楽しかったです。

頑張って走り続けました。

大きな人にもぶつかりました。

はじき飛ばされました。
また行きたいです。
次の合宿の時の試合では、絶対に勝ちたいです。

なつがっしゅくのかんそう

1年 かわせ こうたろう

いままでは しいいでつかまえても、あいてに にげられちゃった。
でも、なつがっしゅくのしいいとき、はじめてあいてをつかまえられた。
うれしかった。はつタックル！

『すがだいらでやったしいい』

1年 はぎわら たつき

すがだいらでは、にしあいもまけてくやしかったです。つぎたたかうときはぜったいにかちたいです。
ステップとタックルとパスをぜんぶがんばりたいです。

『夏合宿に参加して』

萩原 満(たつき父)

息子2人が麻生ラグビースクールにお世話になってから、この合宿への参加を毎年楽しみにしております。いつもにも増して逞しい息子たちの姿をみると、ラグビーというスポーツの素晴らしさを感じずにはいられません。

そして密かに私自身が楽しんでおります。コーチ試合に参加させていただくことで、久しぶりに昔の血が甦ってきます。やはりラグビーが好きなのだと思います。

来年もぜひ参加できるようがんばりますので、またよろしくお願いします。

夏合宿の感想

1年 河瀬孔太郎・母 端子

この合宿で印象的であった事が3つあります。

1年生の初めてのランパス練習は1・2年混合でした。上手いかない1年生に対し、2年生は声をかけ続け、背中をたたき、励ましていました。1年生も彼なりに必死に取り組んでいました。一日の最後の練習で、決して楽ではなかったその時間。そこで起きた光景であったが故に、とても感動しました。

もう一つ、子供たちの寝ている姿。1年生は疲れて爆睡。微動だにしません。一方で、2年生は「こんなにくっいたら暑いだらう…」と思うほど、仲良く団子に。可愛らしい姿には、笑えてしまいました。

そして、孔太郎・本人も喜んでいる「初タックル」。菅平に行った甲斐がありました！

旅館の手配・往復の車の運転・そして暑い中の熱心なご指導…色々のご配慮下さったコーチ陣の皆さまには本当に感謝しております。

2010年 茅ヶ崎・麻生 定期交流大会

□日時 2月14日(日) 9:00~13:00
 □場所 平塚市四之宮総合グラウンド
 □主催 茅ヶ崎RS
 □参加 茅ヶ崎RS・麻生RS

<対戦結果>

備考 トライ後のキックなし
 2年生以下はトライ数(本数)表記
 3年生以上は、5点/トライで表記

年中・年少(茅ヶ崎は年長含む)

麻生 ○ 11 - 7 ● 茅ヶ崎

年長

麻生 ○ 14 - 4 ● 茅ヶ崎

1年生

麻生A ○ 13 - 10 ● 茅ヶ崎A
 麻生B ○ 11 - 5 ● 茅ヶ崎B
 麻生C ● 8 - 12 ○ 茅ヶ崎C

2年生

麻生 ○ 9 - 2 ● 茅ヶ崎
 麻生 ○ 11 - 3 ● 茅ヶ崎

6人制での変則試合
 (ルールは5人制に準ずる)

3年生

麻生 ○ 75 - 10 ● 茅ヶ崎
 麻生 ○ 65 - 30 ● 茅ヶ崎

4年生

麻生 ○ 25 - 15 ● 茅ヶ崎
 麻生 ○ 45 - 10 ● 茅ヶ崎

5年生

麻生 ● 5 - 15 ○ 茅ヶ崎
 麻生 ○ 35 - 10 ● 茅ヶ崎

6年生

麻生 ○ 45 - 40 ● 茅ヶ崎
 麻生 ● 25 - 50 ○ 茅ヶ崎

2010年 藤沢・麻生 定期交流大会

□日時 3月14日(日) 9:00~12:00
 □場所 藤沢市秋葉台グラウンド
 □主催 藤沢RS
 □参加 藤沢RS・麻生RS

<対戦結果>

備考 トライ後のキックは6年生のみ
 2年生以下の低学年は「トライ数(本)」表記
 3~5年生は、「5点/トライ」で表記

年中・年少

麻生 ○ 9 - 3 ● 藤沢
 麻生 ○ 8 - 1 ● 藤沢

年長

麻生 ● 6 - 7 ○ 藤沢
 ● 7 - 9 ○ 藤沢

1年生

麻生A ○ 10 - 4 ● 藤沢AB
 麻生B ○ 12 - 7 ● 藤沢B
 麻生C ● 5 - 8 ○ 藤沢A

2年生

麻生 ○ 7 - 4 ● 藤沢
 麻生 ● 1 - 2 ○ 藤沢
 麻生 ○ 10 - 5 ● 藤沢

3年生

麻生A(赤) ● 10 - 50 ○ 藤沢
 麻生B(紺) ○ 55 - 20 ● 藤沢

4年生

麻生 ○ 35 - 0 ● 藤沢
 麻生 ○ 30 - 0 ● 藤沢

5年生

麻生 ● 5 - 15 ○ 藤沢
 麻生 ● 15 - 30 ○ 藤沢

6年生

麻生 ● 7 - 80 ○ 藤沢
 (1T1G) (12T10G)
 麻生 ● 7 - 73 ○ 藤沢
 (1T1G) (11T9G)

2010年 春季交流大会

□日時 6月13日(日) 10:00~16:40

□場所 藤沢市秋葉台グラウンド

<対戦結果>

3年生

麻生B ● 0 - 30 ○ 鎌倉B
麻生A ● 7 - 39 ○ 藤沢A

4年生

麻生B ○ 32 - 10 ● 鎌倉B
麻生A ○ 40 - 26 ● 藤沢AB

5年生

麻生 ○ 20 - 14 ● 川崎A

6年生

麻生 ○ 77 - 0 ● 鎌倉

2010年 春季交流大会

□日時 6月6日(日) 9:00~13:00

□場所 相模原市麻溝公園麻溝スポーツ広場

<対戦結果>

備考 トライ数

年中

麻生 △ 4 - 4 △ 藤沢

年長

麻生 ● 3 - 9 ○ 鎌倉A

1年生

麻生B ● 5 - 10 ○ 田園B
麻生A ○ 9 - 5 ● 横浜A

2年生

麻生B ● 5 - 6 ○ 横浜D
麻生D ○ 12 - 2 ● 田園D
麻生C △ 7 - 7 △ 鎌倉B
麻生A ● 4 - 6 ○ 藤沢A

リコー・ラグビーフェスティバル2010

□日時 6月20日(日) 9:00~14:30

□場所 リコー砦総合グラウンド

□参加 麻生RS・田園RS・多摩RS・グリーンRS

<対戦結果>

幼稚園

麻生 ○ 35 - 5 ● 世田谷

1年生

麻生 ● 15 - 30 ○ 田園
麻生 ● 10 - 70 ○ グリーン・多摩

2年生

麻生 ○ 25 - 20 ● 田園A
麻生 ● 5 - 55 ○ グリーン・多摩
麻生 ○ 55 - 15 ● 田園A

3年生

麻生 ● 0 - 45 ○ 世田谷B
麻生 ○ 35 - 5 ● 田園C

4年生

麻生 ● 5 - 40 ○ 世田谷B
麻生 ○ 30 - 25 ● グリーン・多摩

5年生

麻生 ○ 10 - 5 ● 世田谷
麻生 ○ 15 - 5 ● グリーン・多摩

6年生

麻生 ● 0 - 30 ○ 世田谷
麻生 ○ 15 - 5 ● グリーン・多摩

菅平ミニ・ラグビージャンボリー2010

□日程 7月18日(日) 10:30~17:00

□場所 菅平サニアパーク A・Bグラウンド

<対戦結果>

1年生

麻生RS ● 30 - 85 ○ ドラゴンズU12
麻生RS ● 30 - 65 ○ 常総ジュニアRFC

2年生

麻生RS ○ 60 - 10 ● 長野市所少年少女RS
麻生RS ○ 70 - 10 ● 江東RS

3年生

麻生RS ○ 30 - 20 ● 川口RS
麻生RS ● 10 - 55 ○ 江戸川区RS
麻生RS △ 25 25 △ 中条ジュニアRS

4年生

麻生RS ○ 80 - 0 ● 栃木市RS
麻生RS ● 15 - 45 ○ 布施RS
麻生RS ○ 25 5 ● 京都プログレRFC
麻生RS ● 35 40 ○ 江東RS
麻生RS ○ 55 10 ● 上田RS

5年生

麻生RS ● 10 - 25 ○ 栃木市RS
麻生RS △ 10 - 10 △ 京都プログレRFC

6年生

麻生RS ○ 25 - 0 ● 佐野少年RS
麻生RS ○ 20 - 15 ● 中条ジュニアRS

2010年 第21回多摩市ラグビー際

□日時 9月5日(日) 8:30~14:00

□場所 多摩市陸上競技場

<対戦結果>

幼稚園(麻生と多摩の混成紅白戦)

(年中)	赤	○	30	-	15	●	白
(年長)	赤	○	25	-	15	●	白
(混合)	黒	●	20	-	45	○	白

1年生

麻生	●	15	-	40	○	多摩
麻生	●	5	-	30	○	多摩

2年生

麻生	○	60	-	5	●	多摩
麻生	○	35	-	10	●	多摩
麻生	○	40	-	15	●	多摩

3年生

麻生	○	35	-	0	●	多摩
麻生	○	50	-	0	●	多摩

4年生

麻生	○	60	-	0	●	多摩
麻生	○	40	-	0	●	多摩

5年生

麻生	○	20	-	15	●	多摩
麻生	○	20	-	15	●	多摩

6年生

麻生	○	55	-	0	●	多摩
麻生	○	45	-	0	●	多摩

コーチ

麻生	●	5	-	10	○	多摩
----	---	---	---	----	---	----

秋季交流戦

- 日程 9月19日(日) 11:00～16:00
- 場所 鎌倉市深沢多目的広場G
- 参加 麻生・田園・グリーン・YC・鎌倉

<対戦結果>

3年生

麻生 ● 14 - 26 ○ 田園B

4年生

麻生B ● 5 - 35 ○ 田園C
麻生A ● 7 - 28 ○ 鎌倉A

5年生

麻生 ○ 26 - 17 ● 田園C

6年生

麻生 ● 0 - 70 ○ 田園A

・試合時間：3～4年は12分ハーフ、5～6年は15分ハーフ

2010 県大会

3年生(2勝1負 準優勝)

10/24(鎌倉市深沢グラウンド)		
麻生	40 - 5	横浜D
11/7(横須賀市大津グラウンド)		
麻生	7 - 15	鎌倉B
11/23(横浜市保土ヶ谷ラグビー場)		
麻生	54 - 0	茅ヶ崎B

4年生(A 3勝1負 準優勝 B 2勝2負 第3位)

10/3(海老名市中野グラウンド)		
麻生A	47 - 7	YC
麻生B	66 - 0	川崎A
10/24(鎌倉市深沢グラウンド)		
麻生A	28 - 10	横須賀A
麻生B	5 - 42	鎌倉A
10/31(横浜市新横浜運動広場)		
麻生A	雨天中止	田園A
麻生B	雨天中止	田園B
11/7(厚木市荻野運動公園競技場)		
麻生A	42 - 19	大和A
11/21(相模原市三菱重工グラウンド)		10/31の順延
麻生A	7 - 59	田園A
麻生B	0 - 77	田園B
11/23(横浜市保土ヶ谷ラグビー場)		
麻生B	43 - 28	藤沢B

5年生(3勝1負 準優勝)

10/24(横須賀市大津グラウンド)		
麻生	21 - 14	横須賀A
10/31(相模原市麻溝台グラウンド)		
麻生	38 - 7	相模原B
11/7(川崎市等々力補助グラウンド)		
麻生	14 - 12	田園A
11/14(海老名市陸上競技場)		
麻生	14 - 57	横浜B

6年生(2勝2負 準優勝)

10/3(横須賀市大津グラウンド)		
麻生	49 - 26	横須賀A
10/31(川崎市等々力補助グラウンド)		
麻生	7 - 54	横浜A
11/7(川崎市等々力補助グラウンド)		
麻生	21 - 12	川崎A
11/14(相模原市麻溝公園スポーツ広場)		
麻生	14 - 54	大和

ミルクィー秋季交流大会

□日程 11月7日(日)
□場所 大和学園セシリアグラウンド

<対戦結果>

年中(交流大会)

麻生 ○ 20 - 10 ● 横浜B
麻生 ○ 20 - 15 ● 鎌倉

年長(大和キンダーカップ)

麻生 ● 0 - 15 ○ 大和B
(1回戦敗退で交流大会へ)

年長(交流試合)

麻生 ○ 35 - 10 ● 横浜C

ミルクィー交流大会

□日程 11月14日(日)
□場所 横浜市なぎさ公園グラウンド

<対戦結果>

備考 得点はトライ数で表記

年中

麻生 ○ 9 - 3 ● 横須賀A

年長

麻生 ○ 5 - 3 ● 横浜A

1年生

麻生A ○ 5 - 4 ● 海老名
麻生B ○ 8 - 6 ● 横浜D

2年生

麻生A ○ 10 - 4 ● 横須賀B
麻生B ○ 16 - 4 ● 横浜G
麻生C ○ 9 - 2 ● グリーンA
麻生D ○ 7 - 3 ● 横須賀D

ミルクィー交流大会

□日程 11月23日(火・祝)
□場所 海老名市陸上競技場

<対戦結果>

雨天中止

2010年 県大会試合結果

【予選リーグ】

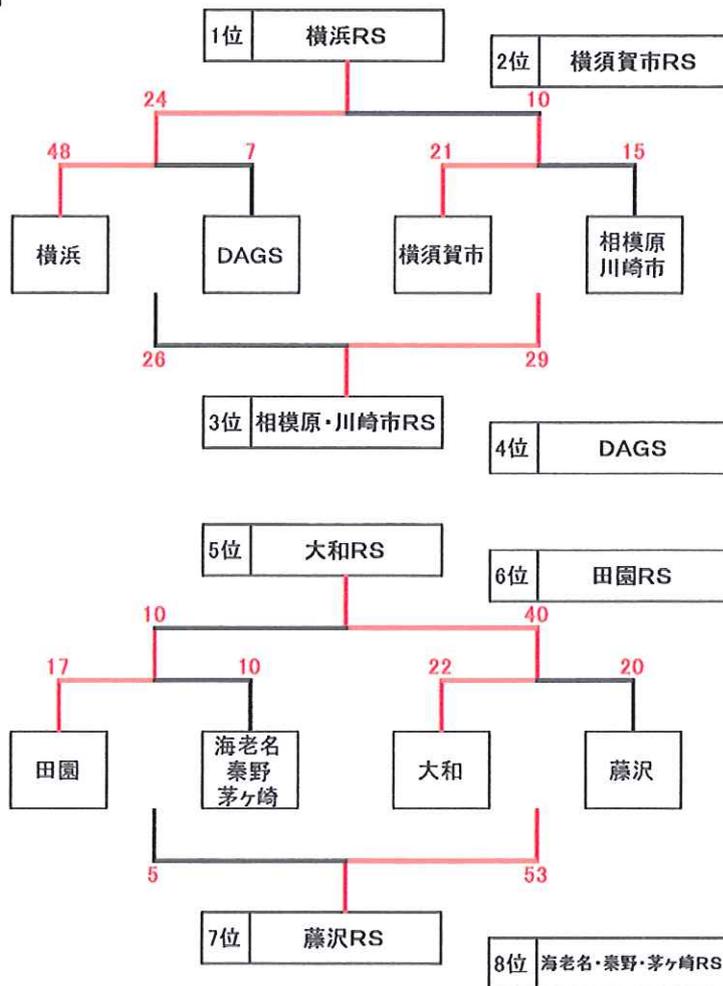
A-1ブロック

	横浜RS	横須賀市RS	大和RS	田園RS	勝 - 負 - 分	得失点差	順位
横浜RS		○ 47 - 5	○ 49 - 0	○ 58 - 0	3 - 0 - 0	149	1
横須賀市RS	× 5 - 47		○ 29 - 12	○ 68 - 19	2 - 1 - 0	24	2
大和RS	× 0 - 49	× 12 - 29		× 7 - 38	0 - 3 - 0	-97	4
田園RS	× 0 - 58	× 19 - 68	○ 38 - 7		1 - 2 - 0	-76	3

A-2ブロック

	相模原・川崎市RS	DAGS	藤沢RS	海老名・秦野・茅ヶ崎RS	勝 - 負 - 分	得失点差	順位
相模原・川崎市RS		○ 19 - 17	○ 50 - 10	○ 87 - 0	3 - 0 - 0	129	1
DAGS	× 17 - 19		○ 17 - 10	○ 58 - 7	2 - 1 - 0	56	2
藤沢RS	× 10 - 50	× 10 - 17		○ 29 - 17	1 - 2 - 0	-35	3
海老名・秦野・茅ヶ崎RS	× 0 - 87	× 7 - 58	× 17 - 29		0 - 3 - 0	-150	4

【順位決定戦】



2010年 県大会試合結果

【予選リーグ】

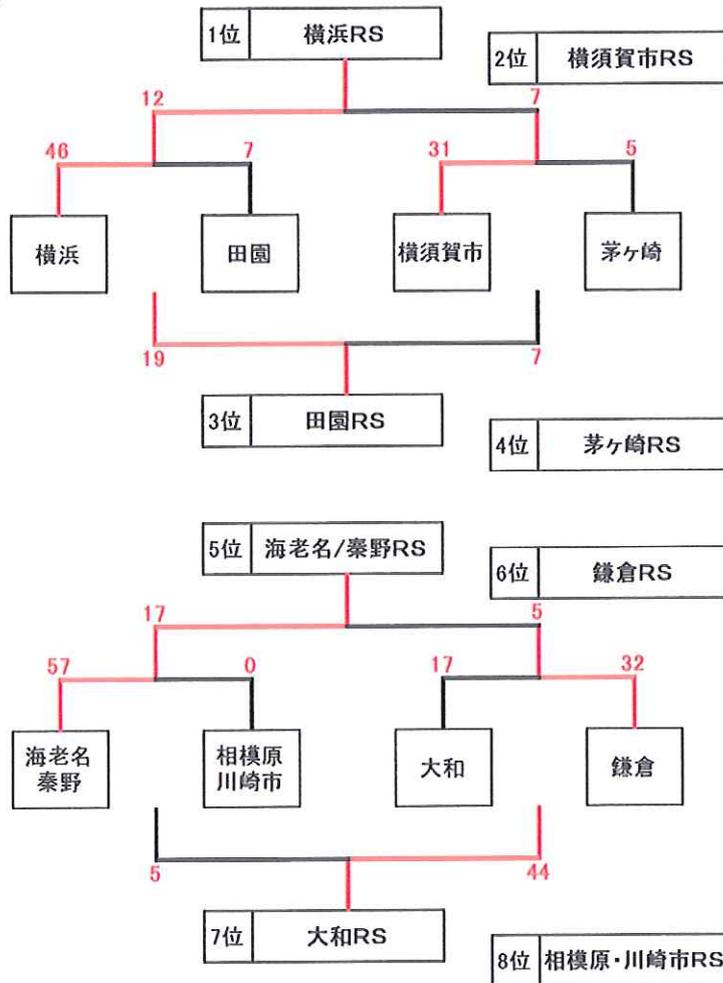
B-1ブロック

	横浜RS	鎌倉RS	海老名/秦野RS	茅ヶ崎RS	勝	負	分	得失点差	順位
横浜RS		—	○ 57 — 0	○ 45 — 7	2	0	0	95	1
鎌倉RS	0 — 0		× 0 — 59	△ 22 — 22	0	1	1	-59	4
海老名/秦野RS	× 0 — 57	○ 59 — 0		× 12 — 15	1	2	0	-1	3
茅ヶ崎RS	× 7 — 45	△ 22 — 22	○ 15 — 12		1	1	1	-35	2

B-2ブロック

	相模原/川崎市RS	横須賀市RS	大和RS	田園RS	勝	負	分	得失点差	順位
相模原/川崎市RS		× 7 — 36	× 14 — 31	× 5 — 82	0	3	0	-123	4
横須賀市RS	○ 36 — 7		○ 46 — 0	○ 17 — 0	3	0	0	92	1
大和RS	○ 31 — 14	× 0 — 46		× 17 — 36	1	2	0	-48	3
田園RS	○ 82 — 5	× 0 — 17	○ 36 — 17		2	1	0	79	2

【順位決定戦】



2010年 県大会試合結果

【予選リーグ】

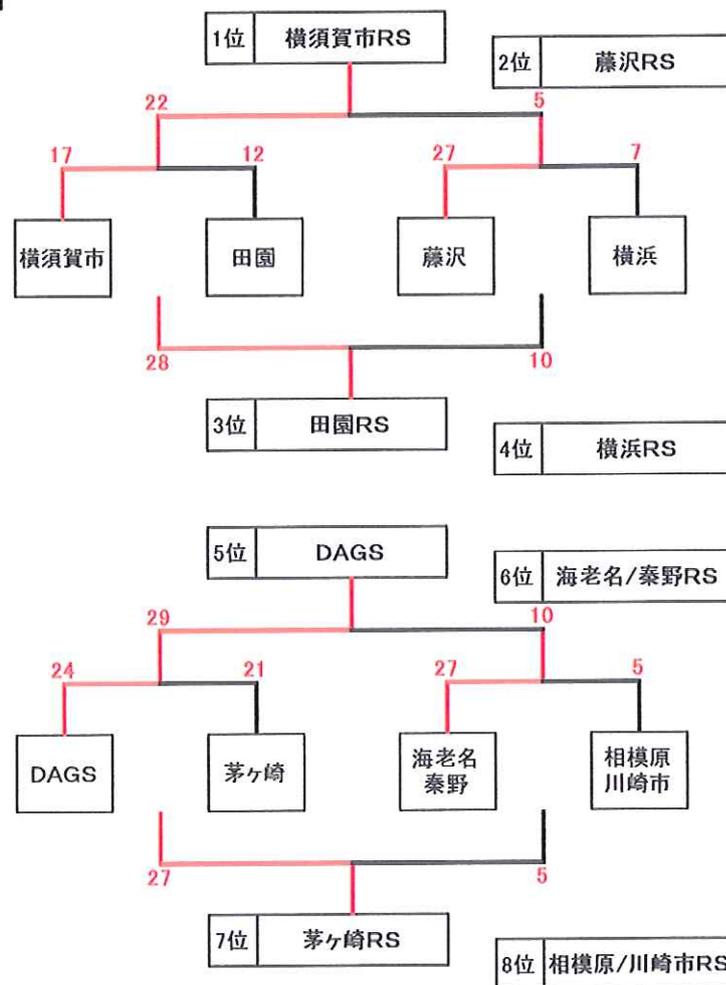
C-1ブロック

	横浜RS	相模原/川崎市RS	横須賀市RS	DAGS	勝 - 負 - 分	得失点差	順位
横浜RS		○ 31 - 0	- -	○ 49 - 7	2 - 0 - 0	73	2
相模原/川崎市RS	× 0 - 31		× 0 - 75	- -	0 - 2 - 0	-106	4
横須賀市RS	○ 0 - 0	○ 75 - 0		○ 31 - 0	2 - 0 - 0	106	1
DAGS	× 7 - 49	△ 0 - 0	× 0 - 31		0 - 2 - 1	-73	3

C-2ブロック

	藤沢RS	田園RS	海老名/秦野RS	茅ヶ崎RS	勝 - 負 - 分	得失点差	順位
藤沢RS		× 12 - 38	- -	○ 64 - 0	1 - 1 - 0	38	2
田園RS	○ 38 - 12		○ 24 - 5	- -	2 - 0 - 0	45	1
海老名/秦野RS	○ 0 - 0	× 5 - 24		○ 32 - 10	1 - 1 - 0	3	3
茅ヶ崎RS	× 0 - 64	△ 0 - 0	× 10 - 32		0 - 2 - 1	-86	4

【順位決定戦】



平成22年 県大会・小学生 星取表

小学3年生

A	順位	勝敗	引分	PT	相模原A	田園A	横浜A	大和	横須賀A
相模原A		1-3	0	3		5●86	5●90	41○10	20●61
田園A	準優勝	3-1	0	9	86○5		0●71	80○0	64○5
横浜A	優勝	4-0	0	12	90○5	71○0		68○0	55○14
大和		0-4	0	0	10●41	0●80	0●68		0●77
横須賀A		2-2	0	6	61○20	5●64	14●55	77○0	

B	順位	勝敗	引分	PT	田園B	茅ヶ崎A	横須賀B	藤沢A	鎌倉A
田園B	準優勝	3-1	0	9		59○26	68○19	0●61	41○19
茅ヶ崎A		0-4	0	0	26●59		19●61	0●95	15●77
横須賀B		1-3	0	3	19●68	61○19		0●68	5●70
藤沢A	優勝	4-0	0	12	61○0	95○0	68○0		70○0
鎌倉A		2-2	0	6	19●41	77○15	70○5	0●70	

C	順位	勝敗	引分	PT	田園C	川崎	相模原B	横浜B
田園C	優勝	3-0	0	9		75○0	66○0	28○12
川崎		1-2	0	3	0●75		27○22	0●45
相模原B		0-3	0	0	0●66	22●27		0●82
横浜B	準優勝	2-1	0	6	12●28	45○0	82○0	

D	順位	勝敗	引分	PT	横須賀C	藤沢B	相模原C	田園D
横須賀C	準優勝	1-2	0	3		17●20	31○26	0●74
藤沢B	準優勝	1-2	0	3	20○17		5●47	5●40
相模原C	準優勝	1-2	0	3	26●31	47○5		17●49
田園D	優勝	3-0	0	9	74○0	40○5	49○17	

E	順位	勝敗	引分	PT	藤沢C	グリーン	海老名	横浜C
藤沢C		0-3	0	0		5●55	5●30	10●37
グリーン	優勝	3-0	0	9	55○5		41○0	38○12
海老名		1-2	0	3	30○5	0●41		0●52
横浜C	準優勝	2-1	0	6	37○10	12●38	52○0	

F	順位	勝敗	引分	PT	茅ヶ崎B	鎌倉B	横浜D	麻生
茅ヶ崎B		1-2	0	3		15●22	35○20	0●54
鎌倉B	優勝	3-0	0	9	22○15		36○15	15○7
横浜D		0-3	0	0	20●35	15●36		5●40
麻生	準優勝	2-1	0	6	54○0	7●15	40○5	

平成22年 県大会・小学生 星取表

小学4年生

A	順位	勝敗	引分	PT	田園A	横須賀A	YC	麻生A	大和A
田園A	優勝	4-0	0	12		69○0	74○0	59○7	69○0
横須賀A		1-3	0	3	0●69		31○5	10●28	0●36
YC		0-4	0	0	0●74	5●31		7●47	15●28
麻生A	準優勝	3-1	0	9	7●59	28○10	47○7		42○19
大和A		2-2	0	6	0●69	36○0	28○15	19●42	

B	順位	勝敗	引分	PT	大和B	藤沢A	横浜A	相模原A	横須賀B
大和B		0-4	0	0		0●85	0●78	14●38	7●28
藤沢A	準優勝	2-1	1	7	85○0		15●31	28△28	61○0
横浜A	優勝	4-0	0	12	78○0	31○15		33○14	55○10
相模原A	準優勝	2-1	1	7	38○14	28△28	14●33		47○17
横須賀B		1-3	0	3	28○7	0●61	10●55	17●47	

C	順位	勝敗	引分	PT	田園B	鎌倉A	川崎A	麻生B	藤沢B
田園B	優勝	4-0	0	12		21○14	70○0	77○0	64○0
鎌倉A	準優勝	3-1	0	9	14●21		40○7	42○5	47○7
川崎A		0-4	0	0	0●70	7●40		0●66	0●70
麻生B		2-2	0	6	0●77	5●42	66○0		43○28
藤沢B		1-3	0	3	0●64	7●47	70○0	28●43	

D	順位	勝敗	引分	PT	鎌倉B	横浜B	相模原B	横須賀C	グリーン
鎌倉B		1-3	0	3		14●44	12●59	46○17	19●21
横浜B	準優勝	3-1	0	9	44○14		39○5	68○7	0●38
相模原B		1-3	0	3	59○12	5●39		30●36	19●57
横須賀C		1-3	0	3	17●46	7●68	36○30		0●100
グリーン	優勝	4-0	0	12	21○19	38○0	57○19	100○0	

E	順位	勝敗	引分	PT	厚木	秦野	横浜C	川崎B	田園C
厚木	準優勝	3-1	0	9		75○15	41○22	67○12	0●59
秦野		0-4	0	0	15●75		12●32	22●54	5●92
横浜C		2-2	0	6	22●41	32○12		55○19	5●78
川崎B		1-3	0	3	12●67	54○22	19●55		0●89
田園C	優勝	4-0	0	12	59○0	92○5	78○5	89○0	

F	順位	勝敗	引分	PT	茅ヶ崎	田園D	海老名	横浜D
茅ヶ崎		0-3	0	0		0●80	12●64	15●26
田園D	優勝	3-0	0	9	80○0		66○0	45○5
海老名	準優勝	2-1	0	6	64○12	0●66		33○20
横浜D		1-2	0	3	26○15	5●45	20●33	

平成22年 県大会・小学生 星取表

小学5年生

A	順位	勝敗	引分	PT	藤沢A	横浜A	鎌倉A	相模原A	海老名
藤沢A		1-3	0	3		0●108	0●98	35●47	84○12
横浜A	優勝	3-1	0	9	108○0		21○14	33●40	81○0
鎌倉A	優勝	3-1	0	9	98○0	14●21		63○7	○不戦勝
相模原A	優勝	3-1	0	9	47○35	40○33	7●63		109○0
海老名		0-4	0	0	12●84	0●81	●不戦敗	0●109	

B	順位	勝敗	引分	PT	相模原B	麻生	横須賀A	横浜B	田園A
相模原B		0-4	0	0		7●38	12●56	0●111	7●47
麻生	準優勝	3-1	0	9	38○7		21○14	14●57	14○12
横須賀A		2-2	0	6	56○12	14●21		0●77	42○28
横浜B	優勝	4-0	0	12	111○0	57○14	77○0		42○0
田園A		1-3	0	3	47○7	12●14	28●42	0●42	

C	順位	勝敗	引分	PT	鎌倉B	YC	大和	田園B
鎌倉B		0-3	0	0		25●38	5●52	0●21
YC		1-2	0	3	38○25		7●70	28●68
大和	優勝	3-0	0	9	52○5	70○7		38○21
田園B	準優勝	2-1	0	6	21○0	68○28	21●38	

D	順位	勝敗	引分	PT	グリーン	田園C	横須賀B	川崎A
グリーン	準優勝	2-1	0	6		49○12	42○38	21●29
田園C		0-3	0	0	12●49		7●56	14●40
横須賀B		1-2	0	3	38●42	56○7		5●71
川崎A	優勝	3-0	0	9	29○21	40○14	71○5	

E	順位	勝敗	引分	PT	川崎B	藤沢B	茅ヶ崎	横浜C
川崎B		0-3	0	0		19●42	21●31	12●39
藤沢B		1-2	0	3	42○19		21●28	26●49
茅ヶ崎	準優勝	2-1	0	6	31○21	28○21		21●36
横浜C	優勝	3-0	0	9	39○12	49○26	36○21	

平成22年 県大会・小学生 星取表

小学6年生

A	順位	勝敗	引分	PT	川崎A	横須賀A	横浜A	大和	麻生
川崎A		1-3	0	3		22●28	14●42	21○10	12●21
横須賀A		1-3	0	3	28○22		14●71	35●45	26●49
横浜A	優勝	4-0	0	12	42○14	71○14		87○0	54○7
大和	準優勝	2-2	0	6	10●21	45○35	0●87		54○14
麻生	準優勝	2-2	0	6	21○12	49○26	7●54	14●54	

B	順位	勝敗	引分	PT	横須賀B	相模原A	田園A	横浜B
横須賀B		0-3	0	0		0●105	0●110	0●85
相模原A	優勝	3-0	0	9	105○0		49○21	89○0
田園A	準優勝	2-1	0	6	110○0	21●49		61○0
横浜B		1-2	0	3	85○0	0●89	0●61	

C	順位	勝敗	引分	PT	秦野	田園B	グリーンYC	茅ヶ崎
秦野	準優勝	1-2	0	3		0●103	54○17	14●59
田園B	優勝	3-0	0	9	103○0		56○7	63○7
グリーンYC	準優勝	1-2	0	3	17●54	7●56		22○14
茅ヶ崎	準優勝	1-2	0	3	59○14	7●63	14●22	

D	順位	勝敗	引分	PT	海老名	藤沢A	厚木	鎌倉
海老名	準優勝	2-1	0	6		7●66	92○7	74○7
藤沢A	優勝	3-0	0	9	66○7		○不戦勝	119○0
厚木		0-3	0	0	7●92	●不戦敗		40●61
鎌倉		1-2	0	3	7●74	0●119	61○40	

E	順位	勝敗	引分	PT	田園C	藤沢B	相模原B	川崎B
田園C	準優勝	2-1	0	6		21●42	98○0	68○7
藤沢B	優勝	3-0	0	9	42○21		49○7	70○21
相模原B		1-2	0	3	0●98	7●49		28○21
川崎B		0-3	0	0	7●68	21●70	21●28	

訃報

4年生松田優一君と1年生松田陽介君のお父様であられた、1年生の松田コーチが8月25日、逝去されました。

松田コーチは生前、低学年の育成に情熱を持って尽くされておりました。その熱い想いを麻生ラグビースクールコーチ一同引き継いでいきたいと思っております。

謹んでお悔やみ申し上げます。

編集後記

今年の合宿もスケジュール調整が出来ず、編集長は合宿に参加できませんでした。

残念！！しかし、ラグーマンを読むと合宿の熱気、グラウンドの芝のにおいが伝わってきます。

来年こそはスケジュール調整して参加するぞ！！

今回から、梅原カメラマンの楽しい報告が加わりました。来年はもっと量を増やしてくれると嬉しいなあ。

事前に何人かの専属カメラマンを依頼して見ます。(毛利)

今年もたくさんの感動をありがとう菅平(6年 伊藤)

5年生は、ご父兄が合宿担当であり、三位一体となった合宿でした。ご父兄の努力に感謝いたします。有難う御座いました。(5年 木下)

今年は大雨にびっくりしましたが、子ども達にはそれもいい思い出になったかもしれません。充実した練習もできたし、既に来年が楽しみです！(2年 亀田)

子供たちの原稿から一人一人の成長を感じます(宮澤)

麻生リトルラグーマン NO. 85

発行日／平成22年9月2日

発行者／三浦 幸宏(042-331-6548)

編集長／毛利昌康(044-953-8107):Eメールアドレス masayasu@delight-net.com

副編集長／小松正巳

編集委員／小坂頼史・伊藤信一・木下義之・宇田洸希・梅原清志・亀田直幹・濱田正行・菅田光平・宮澤秀毅

表紙題字:元全日本監督 日比野弘氏 ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~asaors/>